

公益社団法人 日本てんかん協会

第 46 回 総 会 議 案 書



日時 2023（令和5）年6月4日（日）午後1時～3時30分

会場 東京国際フォーラム ガラス棟G502

〒100-0005 東京都千代田区丸の内3丁目5番1号

第1号議案 2022（令和4）年度事業報告書

第2号議案 2022（令和4）年度会計報告書

第3号議案 2023（令和5）年度事業計画書（案）

第4号議案 2023（令和5）年度会計予算書（案）

第5号議案 役員選任（案）



● 正会員の皆さまへ

公益社団法人日本てんかん協会の第46回総会開催にあたり、ここに各議案を提案いたします。これらの議案は、理事会において審議され総会に提案されるものです。ぜひ全文をご熟読ください、皆さまのご意見をお寄せください。総会は、協会における最高議決機関ですので、「正会員」の皆さまは総会にご出席くださるか、同封しました『委任状』に必要事項を記載し、必ずご提出ください。また、総会を欠席予定の方は、別紙でご意見もぜひお寄せください。

なお、本議案は、表記が大変細かな内容となり恐縮ですが、別途協会ホームページ-会員ログイン内 (<https://www.jea-net.jp/login>) にPDF版（1頁1枚）を掲載しております。上記QRコードを読み取りアクセスいただくことでダウンロードも可能となっておりますので、ご活用ください。

2023（令和5）年5月1日

公益社団法人日本てんかん協会 会長 梅本里美

第1号議案

2022（令和4）年度事業報告書（2022年4月1日～2023年3月31日）

今年度は、「新型コロナウイルス感染症」感染拡大から3年目となり、感染拡大防止に配慮しながらではありましたが、年度の後半には次年度を見据えて対面での事業実施へのシフトを進めながら活動した1年でした。特に10月に開催した全国大会では、3年ぶりにてんかんのある本人や家族が直接集い交流を行う機会となり、あらためて協会活動の意義を再確認する場ともなりました。一方で、コロナ禍が完全に終息したわけではないため、新たな活動のあり方を地域活動でも取り入れながらの活動ができるように進めてきました。

今年度は2023年に控えた運動50周年に向けた準備を進めました。活動をさらに推進するためのあかりちゃん夢基金の募集を開始しました。ホームページでは記念サイトをプレオープンするとともに、公式Twitterも開設しSNSでの発信により広く一般市民の皆さん目のにも触れる機会を拡充しました。

元大関の豊ノ島氏、ラグビートップリーグ所属の土佐誠選手など、てんかんのあるアスリートが自身のてんかんを語ることにより、より広く一般の方に向けた啓発活動を行うことができました。

てんかん施策では、政府のてんかん地域診療連携体制整備事業が全国28カ所に事業拡大し、やっと半数以上の自治体での実施を現実しました。さらに、2021年に要望した「学校等教育現場におけるてんかん発作の対応に関する要望書」の成果が実り坐薬と異なる形態のてんかん重積時治療薬について、学校等教育現場において坐薬同様に取り扱えるようになり、すでに欧米各国で使用されている大麻成分を含む抗てんかん薬の治験が進んだことによりドラッグラグの解消、難治てんかん治療の推進した年となりました。

また、「台風」「大雨」「地震」などの風水害に対する、緊急時対応ツールとして「災害時専用LINE」を導入することにより、災害時の安否確認や被災した際にてんかんであることにより助けを求めるために内容について対応ができる体制を整え始めました。

なお、年度当初に計画した活動の中で、人的・財的な不足などから、今年度中に実施できなかった事業、十分な成果を得られなかつた事業については、新年度の活動の中で引き続き検討を進めて参ります。

以上から、社会的背景、特筆すべき取り組み、実現に時間要する活動の要点を次にまとめます。

1.社会的背景

- ①全国にまん延を続ける「新型コロナウイルス感染症」の感染拡大防止下での新たな形式による活動
- ②対面で行う活動の重要性の再認識
- ③てんかんに関する国際的な啓発・支援の動き
- ④てんかんを正しく理解する各種専門職の不在(地域の特性を活かした支援体制の整備)
- ⑤てんかんに対する過度な社会防衛的反応と経済的不安を抱えた企業での働く場の確保の困難さ
- ⑥補助金、助成金事業の先細りと製薬業界などによる支援活動の透明性・公表ガイドラインの実施

2.特筆すべき取り組み

- ①コロナ禍で初の書面表決総会、てんかん基礎講座の完全オンライン開催(その他各種会議は、一昨年度からオンライン対応を一部導入済み)
- ②50周年記念サイトやTwitterを活用した新たな啓発活動
- ③災害時緊急連絡ツールとしてのLINEの設置
- ④マスコミと連携した活動(番組や記事連載の共同企画、記者への啟発活動)
- ⑤国内てんかん関連組織(日本てんかん学会、全国てんかんセンター協議会、てんかん治療研究振興財団候群患者家族会、てんかん対策推進プロジェクトチーム)との連携強化(合同会への連名による要望、他)と、国の地域診療連携体制整備事業のさらなる拡充に向けた働きかけ

3.実現に時間要する活動

- ①SNSを活用した会員やてんかんのある人たちとの情報交信の実現
- ②会費依存体质の見直しと独自財源の確保
- ③新しい時代に合った支部・ブロック活動と役員候補者の発掘と育成(地域ネットワークづくりの見直し)
- ④学校教育現場や働く場への直接的なアプローチ

以下、今年度内に計画をした事業の内、次の事業を実施しましたので報告いたします。

I. てんかんに関する正しい知識の普及啓発及びその理解の促進を図るための講演会及び研修会の開催事業

「てんかんを正しく理解する月間(てんかん月間2022)」の実施

※日本てんかん学会との共催事業

- 1). 期間：10月1日～31日
- 2). キャンペーン・カラー「フレンドリー・パープル（赤紫色）」の周知
- 3). 「てんかんに関する宣言」の周知（※英語版も関係各所に配布）
- 4). 2015年に世界保健総会（WHO総会）以降に決議されたてんかん対策の内容を周知。
- 5). キャンペーン・ポスター（A2版）の全国配布、啓発資材（ポケットティッシュ、など）の作成・配布
- 6). オリジナルクリアホルダーの全国頒布、あかりちゃんピンバッヂ第二弾の寄附者への配布
- 7). ラグビートップリーグ土佐誠選手（三菱重工相模原ダイナボアーズ）からのメッセージ配信
※てんかんのある当事者として、全国の仲間にエールを送りました。
- 8). 中央キャンペーンの実施
 - ①開催日：10月1日（土）～31日（月） *期間中数日間
 - ②開催地：JR大塚駅頭、福祉財団ビル「三角ひろば」
 - ③参加者総数：各日約100人が来場／記念撮影コーナー・SNS投稿、臨時個別相談対応、ボランティア参加20人
※特設啓発サイト「100通りのジンセイ。#テンカン ~てんかんをもっと身近に。~」
<http://100stylesof.life/>
 - ④YouTubeチャンネルから「当事者Voice」（動画）を配信
- 9). 全国大会における中央集会（記念式典）の開催
 - ①開催日：10月22日（土）13時20分～14時00分
 - ②開催地：ているる（沖縄県男女共同参画センター）・YouTube同時配信、③参加者総数：460人、④竹之内秀吉厚生労働省精神・障害保健課心の健康支援室室長臨席
- 10). 木村太郎記念賞、功労賞の贈呈
 - ①木村太郎記念賞：松浦雅人（東京医科歯科大学、田崎病院）
 - ②功労賞：上門トシ子（故人）、中山清光、城間直秀、認定特定非営利活動法人こども医療支援わらびの会、平良直樹（以上、沖縄県）、深澤尚伊（故人／群馬県）、鈴木守男（故人／新潟県）
- 11). メディアセミナーの実施
 - ①開催日：10月27日（木）13時00分～15時00分
 - ②開催地：オンライン開催、③参加者総数：20人、④WHO策定のIGAP（領域横断的なてんかんと神経疾患の世界的行動指針案）の最新情報について、こどものてんかん～てんかん移行期医療について、他
- 12). 市民公開講座の実施
 - ①開催日：10月06日（水）～31日（月）
 - ②開催地：YouTubeチャンネル配信、③視聴総数：460人、④こどものてんかん／てんかんの移行期医療、他
- 13). 全国協賛事業・街頭活動の実施
のぼり旗の活用、署名活動、などを全国各地で展開・アピール
- 14). 会員獲得強化運動の実施
- 15). 全国統一要望活動の実施
 - ①てんかんの地域診療体制の整備（拠点機関の設置、地域医療計画へのてんかん医療の位置づけ）
 - ②運賃減額制度の対象者拡大（精神保健福祉手帳のサービス拡充）
- 16). 後援・協賛団体・機関
 - ①後援：内閣府、厚生労働省、文部科学省、日本てんかん学会、全国知事会、全国市長会、全国町村会、全国社会福祉協議会、高齢・障害・求職者雇用支援機構、福祉医療機構、日本赤十字社、日本弁護士会連合会日本看護協会、日本薬剤師協会、日本製薬工業協会、読売新聞社等報道各社、他。（全33機関・団体）
 - ②協賛：てんかん治療研究振興財団、全国てんかんセンター協議会、全国心身障害児福祉財団、全国病弱・障害児の教育推進連合会、日本障害者協議会、全国精神障害者団体連合会、全国精神保健福祉会連合会、全国LD親の会、全国筋無力症友の会、他障害者・患者団体等。（全81機関・団体）

マスコミ等との連携

- 1). 新型コロナウィルス感染予防とてんかん治療を継続するために「あかりちゃんの12の約束」配信
- 2). 自動車運転に関する適切な情報提供
- 3). 自然災害に際する各地・被災地への適切な情報提供、感染症とてんかんに関する情報提供
- 4). 正しい知識の普及、当事者とその家族による理解促進
 - ①企業内研修への当事者とその家族の派遣（体験発表）
 - ②SNSを活用した当事者の声の発信
- 5). マスメディアと連携した取り組みの実施
 - ①てんかんのあるアスリートの活動を通した社会啓発

「大相撲元関脇豊ノ島さん・ジャパンラグビー土佐誠さんによる新聞・雑誌への掲載」

- ②大麻解禁と新たな治療法の取り組み
- ③メディアセミナーの実施【再掲】 ※日本てんかん学会との共催事業
 - a. 実施日：10月28日(木)13時00分～15時00分
 - b. 開催地：オンライン開催
 - c. 参加者：20人
 - d. 内容：
 - ・開会・オリエンテーション
 - ・情報提供①「WHO策定のIGAP（領域横断的なてんかんと神経疾患の世界的行動指針案）の最新情報について」
 - ・情報提供②「こどものてんかん～てんかん移行期医療について」
 - ・指定発言「てんかんとともに生きる」・質疑応答、閉会
- ④記者会に対する定期的な情報提供を実施
 - a. 時期：2022年度年間を通じて
 - b. 内容：厚生労働記者会を中心に、労政記者クラブ、文部科学記者会などに、てんかんの最新情報、協会の活動、時事ネタに関する考え方、などをリリース。
- ⑤啓発動画の配信
 - a. 時期：2022年度年間を通じて
 - b. 内容：啓発動画全6本（あかりちゃんCM編、あかりちゃんと晴夫先生の会話編、「ぼくにもできるよ！」絵本編、見てわかる数字編、街頭インタビュー編、発作対応How To編）を、YouTubeから全国に配信。
※あかりちゃんのLINEスタンプ配信などを継続し、全国に支援の輪を広げた。
- ⑥厚生労働省「インフルエンザ予防啓発」で公式キャラクターとあかりちゃんのコラボ活動を継続
 - a. 時期：11月～3月
 - b. 内容：「マメゾウくん・アズキちゃん」とあかりちゃんのコラボレーションポスターを全国配信
- ⑦「寄付月間～Giving December」全国キャンペーンへの参画
 - a. 時期：12月1日～31日
 - b. 内容：賛同パートナーとして登録、あかりちゃんがマスコットアンバサダーに就任
- 6). 記事、放送内容、企業への働きかけと情報提供
 - ①法律審議、交通事故報道、テレビ番組などへの情報提供・声明発表
 - ②不適正内容への疑義照会
 - ③厚生労働省「心のサポートー養成事業」にてんかんメニュー追加

迅速で適切な情報の提供と機能の充実

1. 全国支部への情報配信

- 1). 不定期発行（印刷物等での送付）
- 2). 本部・支部間連絡リスト renraku-mailによる情報提供
- 3). FAX. 通信も隨時発行
- 4). 支部メーリングリスト jeam!での意見交流

2. ホームページ(インターネット)をリニューアル

- 1). Home Page <https://www.jea-net.jp> の更新／年間アクセス数805,603 HIT(トップページ)
- 2). 全支部発行の会報を、会員専用ページから配信
- 3). N A M I K I D S (こどもとほごしゃのためのてんかんを知るサイト)
 - ①開設：専用サイト(<https://e-nami.or.jp/namikids/>)を運営中
 - ②内容：てんかんアニメ教室、お楽しみダウンロード、他
- 4). 啓発動画の配信【再掲】
 - ①全6種類の動画を作成し、YouTubeやFacebookを通じて配信
 - ②あかりちゃんをデザインしたLINEスタンプを颁布
 - ③インスタグラムを活用しあかりちゃんを通じた啓発配信
- 5). オンラインでの入会申込みが増加(入会者110名／入会者全体の70.5%)
- 6). インターネットを活用したシステムの検討を実施
- 7). I T・情報活用委員会の実施

権利擁護活動

- 1). 医薬品供給調整による自立支援医療制度利用者への相談対応
- 2). 新型コロナウィルス感染症状に係るワクチン接種等に関する情報提供
- 3). 新規抗てんかん薬の学校での使用に向けた関係機関との情報交換
- 4). ウクライナの障害や疾病のある人の状況把握と支援活動参加
- 5). 国連・障害者権利委員会勧告に関する情報交換
- 6). 全国各地から寄せられたSOSに隨時対応

「第45回てんかん基礎講座」の開催

※エーザイ・ユーシーピージャパン、他協

賛事業

- 1). 事業企画委員会の実施

1. 開講

- 1). 日時：7月24日(日)～8月15日(月)
- 2). 会場：オンライン開講
- 3). 受講者数：1,226人

2. テーマと講師

- 1). てんかんとはどういう病気か／鶴澤礼実（高城病院）
- 2). てんかん発作の介助／川崎淳（川崎医院）
- 3). てんかんの治療1—薬物療法／寺田清人（てんかんと発達の横浜みのる神経クリニック）
- 4). てんかんの治療2—外科療法／飯田幸治（広島大学）
- 5). てんかんに合併する精神科的障害／田所ゆかり（愛知医科大学）
- 6). てんかんと発達障害／菊池健二郎（埼玉県立小児医療センター）
- 7). てんかんと学校生活／宮本雄策（聖マリアンナ医科大学）

4. その他のプログラム

- 1). 「受講ポイント」制度の実施
- 2). 開講式、閉講式
- 3). 本人および家族からのアピール
- 4). 受講証の発行
- 5). 抄録集の作成・頒布
- 6). アーカイブ配信の準備

各種研修会の開催

- 1). 本部・支部において主催、共催、後援、協賛、協力のさまざまな形で実施
- 2). 内容は、相談活動、社会福祉事業の立ち上げ、支部運営など、さまざまである

支部におけるさまざまな講座の開催

1. 毎月「波」誌上にて告知・報告
2. 協会ホームページでも周知

II. てんかんのある人とその家族に対する相談及び指導等の支援事業

てんかんに関する相談および支援

- 1). 電話相談員による電話相談・来所相談（本部では毎週3回／年間電話1,044件）
- 2). 法に則った自動車運転の適切な指導
- 3). 台風、水害、平成28年熊本地震、東日本大震災などの被災者への相談支援
- 4). 支部・ブロックにおける相談活動の充実
- 5). ピアソポーターの育成、ペアレンツメンター（家族同士の支援活動）への取り組み
- 6). 相談支援専門機関・団体との連携を検討
- 7). 静岡てんかん・神経医療センターの「てんかんホットライン」との連携
- 8). 「てんかん診療ネットワーク（ECN-Japan）」の活用
- 9). 日本てんかん学会・てんかん専門医との連携を推進
- 10). 「ぜんちのあんしん保険」の推奨
- 11). 社会保険労務士による「年金教室」開催との連携
- 12). 会員サービス・相談支援委員会と相談員ミーティングの実施

地域における福祉保健・医療の向上を目的とした活動

- 1). てんかんを正しく理解する取り組み
- 2). 権利擁護活動の充実／ボランティアの育成、イエローリボンバッチ・リストバンドの普及活動
- 3). 患者申し出療法と高額療養費制度等について情報提供
- 4). 各種社会福祉事業の立ち上げ・運営への取り組み（支部活動を中心）
- 5). 地域における療育活動を推進し活動のネットワークづくりを推進（学会・医師会と連携）
- 6). てんかんのある人の自立生活プログラム ※東京都福祉保健財団助成事業（東京都支部実施分）
- 7). てんかんのある人が安心して暮らせるための補助具・素材・機器の開発企業との連携

集団・個別療育指導活動

※国庫補助事業（全国財団経由）

- 1). キャンプの実施（2支部で全2回実施した）
- 2). 水泳教室やレクリエーション活動を各支部で行った

当事者グループ等の育成、自立・就労・社会参加への取り組み

- 1). 当事者支援委員会の実施
- 2). 支部活動での活性化、女性問題、次世代担い手育成、などへの取り組み
- 3). 各種交流集会などへの情報交換（オンライン）
- 4). メーリングリストによる情報・意見交換
- 5). MOSESワークブック翻訳版・改訂、子ども・家族版famoses学習プログラム翻訳版発行
- 6). お母さんのためのWe b交流会の開催

見学・研修（当事者・家族・専門職・学生、など）への対応

- 1). 協会活動の紹介、参考文献・各種資料等の閲覧
- 2). てんかんに関する研修講師の派遣・紹介
- 3). 各種研修会を本部・支部において実施
- 4). ボランティア（研究者、専門職、マスコミ、一般市民など）による協力体制の拡充
- 5). 障害者や支援者の海外派遣事業への協力
- 6). 当事者の渡航、留学、来日などに対する援助

台風、風水害、大規模火災、地震、東日本大震災等への対応・支援

- 1). 被災者への情報提供・相談支援
- 2). 災害対応ガイドのインターネット配信
- 3). 民間災害時障害者支援活動に参加し情報提供
- 4). 災害時緊急連絡LINE登録開始★

支部・ブロック活動の充実・支援・活性化

- 1). 支部還付金の交付
- 2). キャンプ助成金の交付
- 3). ブロック委員会の開催
①オンライン、Eメールなどを活用しての情報交換を実施
- 4). 「第35回全国支部活動者会議」の開催

日時：11月27日（日）13時～15時 会場：オンライン開催 参加者：57人

内容：挨拶、支部活動の要件確認、支運動50周年とあかりちゃん夢基金の取り組み、てんかん地域診療連携整備体制事業とてんかん運動、インボイス制度への法人の対応方針について、質疑応答

- 5). 「ブロック会議」、「ブロック大会」の開催

《ブロック会議》

① 北海道ブロック会議(全道世話人会)	2月5日	(オンライン)
② 東北ブロック会議	※開催中止	
③ 関東 "	11月20日	(オンライン)
④ 北越 "	※開催中止	
⑤ 中部 "	11月6日	(ウィンクあいち／名古屋市)
⑥ 近畿 "	11月20日	(大阪NPOセンター／大阪市)
⑦ 中国 "	12月4日	(KDDI維新ホール／山口市)
⑧ 四国 "	6月19日	(オンライン)
⑨ 九州 "	2月19日	(オンライン)

《ブロック大会》

① 東北ブロック大会	※開催中止
② 北越 "	※開催中止

- 6). アステラス・スターライトパートナー「ピアサポートー」養成研修への参加

全国各地で開催された初級・中級研修会に、各支部からも積極的に参加した。

- 7). 日本てんかん学会「地方会」との連携活動

オリジナル「おくすり手帳」の全国配布事業

- 1). 全36頁。基本情報、発作記録表、おくすりの記録欄、各種情報（医療、くすり、自動車運転、海外旅行、災害時対応、地域連携）制度の情報を収載。ヘルプマーク付きダグと透明専用カバー付録。
- 2). 2018～2019年度に宝くじの社会貢献広報事業にて作成した2種類を増刷し、全国の希望者に配布

III. てんかんに関する調査及び研究事業

一般就労におけるてんかん阻害要因の実情把握と克服に向けた啓発事業

- 1). 2019年度に福祉医療機構の助成事業で取りまとめたリーフレット「てんかんのある人も事業者も安心して働くために」を増刷して、支援事業者等に配布

各種調査・研究事業の実施と協力

- 1). 災害時避難生活における障害のあり方の困りごとに関する研究検討委員会（全社協・障連協）に参画
- 2). 治験・臨床研究参画モデル事業、コロナ後遺症・情報収集、優生手術被害調査、他に協力
- 3). 行政・関係機関・団体や大学関係者の調査研究に隨時協力

IV. 情報誌等の出版物の刊行及び取扱い事業

月刊「波」の発行

- 1). 毎月6,500部発行(通巻632号～644号)／B5版・本文24頁
- 2). 電子書籍版の専用サイト開設
- 3). 「波」を読もうチラシの作成・配布

- 4). 編集委員会の開催（毎月）
- 5). 病院の待合室に「波」をおいてもらおう運動の検討・準備
- 6). 会員向けオンライン配信（法人ホームページ上でフルカラー配信）

支部機関誌紙の発行・交流

- 1). 各支部の特徴を生かした誌面作りで年間を通じて発行
- 2). 協会ホームページ(会員ページ)に全紙を収載・配信【再掲】

小冊子・ビデオの作成・広報

- 1). I E NEWS日本語版(季刊)発行／B5版・本文20頁、協会ホームページからバックナンバー配信
- 2). オリジナル「おくすり手帳」の発行・配布【再掲】
- 3). 既刊ビデオ・DVDのインターネット配信・頒布

各種パンフレット等の活用・作成

- 1). 協会活動広報PRビデオの活用
- 2). コミュニケーション・ツール「患者さんの生活の質を高めるために」(付録／てんかん治療に関する質問票)を全国へ配布(A5版・本文8頁+質問票2頁)
- 3). 「緊急カード」増刷分の周知・配布
- 4). てんかんを正しく知ってもらうための各種啓発資材の作成・配布
- 5). 「災害対応ガイドブック」「高齢者てんかん」「安心して働くために」の増刷・配布
- 6). てんかん学会会員の医療機関等に対しポスターを配布(各A2版・全7種類)
 - (1)てんかん運動PR(小児)、(2)てんかん運動(成人)、(3)読むてんかん運動、(4)改正道路交通法の紹介、(5)精神保健福祉手帳制度紹介、(6)自立支援医療費制度紹介、(7)百分の一(てんかん月間)
- 7). ホームページ(HP)での協会資料のダウンロードを実施

※日本てんかん学会協力事業

てんかん関連書籍の頒布

- 1). 支部活動と連携をした書籍紹介・頒布
- 2). 関連優良図書の受託販売
- 3). 出版社と連携をした書籍の発刊
 - (1)クリエイツかもがわ、NHK出版、少年写真新聞社、アート出版、診断と治療社、などが発行するてんかん関連書籍の受託頒布、(2)抗てんかん薬ポケットブック(第7版)に向けた企画準備
- 4). 関係団体事業や関連学会会場での協会ブースの設営と出張販売

V. 国内外の関連団体との連携及び交流

関係機関・団体との連携

1. 関係団体への加盟

- 1). 国際てんかん協会(I BE)
- 2). 全国てんかんセンター協議会(JEPICA)
- 3). 全国心身障害児福祉財団(全国財団)
- 4). 全国社会福祉協議会(全社協)・障害関係団体連絡協議会(障連協)
- 5). 全国病弱・障害児の教育推進連合会(病障連)
- 6). 日本障害者協議会(JD)

2. 関係する学会との連携

- 1). 日本てんかん学会
- 2). 日本てんかん外科学会
- 3). 日本小児神経学会
- 4). 日本精神神経学会
- 5). 日本神経学会
- 6). 日本脳神経外科学会
- 7). 日本発達障害学会
- 8). 日本精神科救急学会
- 9). その他、必要に応じて関係する学会と連携をした

3. 関係する団体等との連携

- 1). 日本障害フォーラム(JDF)
- 2). 日本障害者リハビリテーション協会
- 3). 全日本手をつなぐ育成会連合会
- 4). 日本発達障害連盟
- 5). 日本発達障害ネットワーク(JDDネット)
- 6). 全国精神保健福祉会連合会(みんなねっと)
- 7). 全国精神障害者就労支援事業所連合会(旧全国職親会)

- 8). 日本難病・疾病団体協議会(JPA)
- 9). 認知症の人と家族の会
- 10). ヘルスケア関連団体ワークショップ
- 11). J-PALS・患者支援団体サミット
- 12). 日本製薬工業協会・患者会連携チーム
- 13). 米国研究製薬工業協会・患者団体支援プログラム
- 14). てんかん治療研究振興財団
- 15). ドラベ症候群患者家族会
- 16). ウエスト症候群患者家族会
- 17). Purple CODE
- 18). HAND STAMP ART PROJECT
- 19). 東京都神経科学総合研究所(東京都医学研究機構)
- 20). その他、必要に応じて関係する団体等と連携をした

4. 関係するてんかん機関・病院等との連携

- 1). 国立精神・神経医療研究センター(病院・精神保健研究所)
- 2). 静岡てんかん・神経医療センター
- 3). 西新潟中央病院てんかんセンター
- 4). 山形病院てんかんセンター
- 5). 宇多野病院
- 6). 東京女子医科大学
- 7). むさしの国分寺クリニック
- 8). てんかん専門病院ベーテル
- 9). 日本橋神経クリニック、その他の医療機関

学会・協会合同会議の開催

- 1). 第25回・第26回会議
 - ①日 時：7月3日(日)18時00分～19時10分、3月29日(金)17時00分～17時45分
 - ②会 場：Web会議(Zoom)
 - ③出席者：(学会)10人、7人(協会)5人、6人
- 2). 内 容：世界てんかんの日、てんかん月間、WHO対応、国庫予算事業、手帳等の認定基準、自動車運転のあり方、組織・事業の連携、今後の協議テーマ、他

国際活動の実施

- 1). 国際てんかん協会(IBE)日本支部としての活動
- 2). 第14回アジア・オセアニアてんかん学会議(AOEC2022)への参加
 - ①人数：2名の役員、当事者1名が公式参加
 - ②開催地・期間：オンライン開催・11月17日(木)～19日(土)
 - ③内容：国際てんかん協会(IBE)総会への出席、他
 - ④協会会員：シンポジウム参加。
- 3). IE NEWS日本語版の情報配信(再掲)
- 4). アジア近隣諸国(韓国、台湾、など)の関係機関・団体との交流・協力支援
- 5). 山内俊雄国際基金の維持(アジア・オセアニア地域との交流目的が中心) ※山内俊雄監事提唱事業
- 6). 世界てんかんの日(IED)記念事業への取り組み(再掲)
- 7). WHOへの働きかけ(IGAP決議)
- 8). ウクライナ情報収集
- 9). 国際委員会の実施

専門職種に対するスキルアッププロジェクトの実施

※ユーシーピージャパン協賛事業

- 1). 看護学会でランチョンセミナーを開催
※コロナ禍から中止

VI. てんかんと専門医療に関する書籍等の普及

「MOSESおよびfaMOSES翻訳・出版事業」の実施

※日本てんかん学会との共催事業

- 1). 医療機関等で実施する研修会からの情報収集
- 2). 協会版研修会実施に向けた検討
- 3). トレーナーズ教本の改訂版の普及
- 4). 専用サイトの充実 5). 子どもと家族を対象とした学習プログラムの法人内実施を検討

「てんかんライブラリー」の拡充

- 1). 関連する図書・資料の整備・充実 2). 国内外の最新情報の確保・提供

VII. てんかんに関する諸制度の推進

意見表明および要望活動

1. 施策推進・意見表明

- 1). 基幹施設（てんかんセンター）の開設・整備の促進
- 2). 専門医・専門医療体制の整備・充実
- 3). 障害者総合支援法の見直しに向けた意見表明
- 4). 国連・障害者権利条約の批准による国内法制度の評価とパラレルレポート
- 5). 障害者差別解消法と障害者虐待防止法の施行に伴う社会整備
- 6). 所得保障制度・障害年金制度の見直し（診断書様式や診断基準等の統一）
- 7). 精神障害者保健福祉手帳のサービス拡大と重複取得に関する改善要望活動
- 8). 就業支援施策の拡充
- 9). 難病医療費助成と小児慢性特定疾病医療費助成の対象拡大による難治てんかんの対象化
- 10). 学校教育施策
- 11). 生活困窮者支援法の施行とマイナンバー制の導入状況を注視
- 12). その他

2. 請願署名活動・全国要望行動の実施

1). 請願署名活動の実施

- ①9項目に再構成した要望書で実施（署名用紙33,600枚）
- ②署名総数：65,727筆、募金総額：349,341円
- ③請願提出：紹介議員174名
- ④てんかんのある人の医療と福祉の向上を求める会議」（※コロナ禍により中止）
- 2). 前回までに、衆参両院にて採択された全項目の具体的実現に向けた要望行動を実施
- 3). 衆議院・参議院両院において、啓発・医療・福祉・労働の4項目が採択（内閣送付）
- 4). 市区町村への要望活動の全国展開に向けた準備

3. 制度見直しへの意見・対応

1). 議員・議会への働きかけ

- ①政府与党「てんかん対策推進プロジェクトチーム」のヒアリング等に参加
 - ②各主要政党の厚生労働および障がい者政策関連プロジェクトチーム
 - ③国連障害者の権利条約推進議員連盟
 - ④国会議員全員への情報提供、等
 - ⑤地方議員・議会
- 2). 各種委員会・研究会等の傍聴と意見提出
 - ①福祉制度
 - a. 障害者政策委員会（内閣府）
 - b. 社会保障審議会・障害者部会
 - c. 障害者総合支援法対象疾患検討会
 - ②医療・医薬品
 - a. 医療上の必要性の高い未承認薬・適応外薬検討会議
 - b. 厚生科学審議会疾病対策部会難病対策委員会
 - c. 社会保障審議会児童部会小児慢性特定疾患児への支援の在り方に関する専門委員会
 - ③労働政策
 - a. 労働政策審議会・障害者雇用分科会
 - 3). 施策推進委員会の開催／各種法制度の見直し時に意見の提出を行った。
 - 4). 関係団体等の各種集会に参加し、関係機関に対する要望書を提出した。
 - 5). 厚生労働省精神・障害保健課内にてんかんチームが初めて発足し、連携を図った。

創薬ボランティア活動の実施

- 1). 製薬企業との情報交換を行い、「波」誌上等で最新情報を提供
- 2). 関連学会と連携して、抗てんかん薬・開発治験促進の働きかけ
- 3). 難治てんかんの治療に用いられる治療法に関する要望活動、等
- 4). 抗てんかん薬ポケットブック（改訂第7版）の製薬企業等への周知協力依頼活動

関連法制度改正に伴う諸制度の改革・改善への取り組み

- 1). 障害者総合支援法見直しに向けて「医療的ケア児」への支援強化を要望
- 2). 改正障害者雇用促進法施行に向けた合理的配慮のあり方に意見表明
- 3). 障害年金認定基準と障害者手帳判定基準の不適切事例について厚生労働省と協議
- 4). 発達障害者支援法の改正に伴う、てんかんに関する情報提供
- 5). 診療報酬改訂およびかかりつけ薬局制度に関する情報提供

- 6). 精神保健福祉手帳・主要サービスの全国自治体一覧を作成要望（主管課長会議で継続中）。また、国土交通省と公共交通機関の運賃割引について地方交通事業者一覧を作成し、各地で働きかけを継続した。
- 7). 各都道府県政令市の地域医療計画にてんかん医療を明示することと、地方公共交通事業者に対して運賃減額対象者の拡大することについて、全国統一要望行動を行った。
- 8). 学校現場でのてんかんのある子どもへの対応指針の取りまとめに向けた意見交換を行政関係者と実施
- 9). 救急搬送時の既往症情報提供に向けた効果的なしきみ作りに向けて意見交換を実施
- 10). てんかんの基幹相談機能のあり方について検討

VIII. その他波の会の目的を達成するために必要な事業

各種会議の開催

- 1). 総会（第45回）

日時：6月5日(日) 11時00分～12時00分 会場：日本てんかん協会「本部事務局」
内容：2021年度事業報告書・会計報告書、2022年度事業計画書・予算書
- 2). 理事会（第249回～第253回）（※書面またはオンライン、⑤のみハイブリット開催）

①5月13日、②8月21日、③10月23日、④1月29日、⑤3月4・5日
- 3). 業務執行理事会（理事会前後に開催）

委員会活動（*常設の委員会のみ）【再掲】

- 1). 「波」編集委員会 2). 当事者支援委員会 3). 國際委員会 4). IT・情報活用委員会 5). 事業企画委員会 6). 施策推進委員会 7). 会員サービス・相談支援委員会 8). ブロック委員会
- ※次の委員会は2023年度までの事務委員会
- 9). 50周年事業委員会

第49回全国大会（沖縄大会）の開催

※製薬企業複数社等協賛事業

- 1). 日 時：10月22日(土)13時00分～23日(日) 12時00分
- 2). 会 場：てらる（沖縄県男女共同参画センター）・YouTube同時配信
- 3). テーマ：「命どう宝 新しい時代に向け手をつなごう 大きな輪（おきなわ）」
- 4). 内 容：開会式、各賞表彰、記念講演「てんかんの最新薬物治療」、特別討論「本土復帰50年企画／沖縄における精神科医療の歴史とこれからてんかん診療体制のめざすもの」、交流会、立場別集い、市民公開講座、閉会式
- 4). 参加者数：460人

法人の管理

- 1). 総会、理事会、業務執行理事会の開催
- 2). 役員選任と法人登記
- 3). 会員管理
- 4). 協会諸規程・規則・内規等の整備
- 5). 職員の人事・労務管理（※事務局会議等の開催）
- 6). 各種表彰等の推薦事務手続き
- 7). 内閣府からの指導への対応
- 8). 厚生労働省各種調査、などへの対応
- 9). 日本郵便低料第三種郵便物指導、などへの対応

財務・会計業務

- 1). 一般会計および特別会計の適正処理
- 2). 財政安定化に向けた、各種支援（遺贈、外貨寄付、金券類・有価物の取り扱い、他）のモデル活動
- 3). 中長期の財務計画の策定
- 4). 公認会計士による公益法人会計処理の指導
- 5). 新公益法人会計基準の完全適応化
- 6). 会費納入制度の新システム導入に向けた検討開始
- 7). 固定費用の適性評価検討
- 8). 消費税インボイス制度への対応

第2号議案

2022(令和4)年度会計報告書概要(2022年4月1日～2023年3月31日)

1. 本法人の会計は、一般会計と5つの特別会計（出版部会計、三菱財団助成事業会計、災害支援会計、あかりちゃん夢基金会計、支部会計）により構成しています。本法人は、全国単一組織のため、支部活動を含むすべての事業を公益事業として、法人会計に総括をして表示します（公益事業支出の割合は、98.9%です）。法人の財務状況は、公益法人会計基準に則り、①正味財産増減計算書（明細）、②貸借対照表、③財産目録、以上3つの財務諸表に注記事項を加えて表記しています。

しかし、総会等での公表に際しては、前記の財務諸表①～③に加え、一般会員にとって馴染み深い④収支計算報告書も、参考資料として表示します。

2. 今年度は、法人全体の総収入額が約14,015万円、総支出額が約9,196万円です。これにより、次期繰越金額は約4,819万円です。

会計別の収支を見ますと、一般会計が約132万円、あかりちゃん夢基金会計が430万円の収入超過となりましたが、出版部会計が59万円、災害支援会計が3万円、支部会計が約500万円の支出超過であり、これらを合計すると収支が0となることから今期首に繰り越した額と同額を次年度に繰り越します。

この支部会計の支出超過については、前年度にまでと同様で各支部が保有する資金をより有効に活用し、必要な事業に積極的に取り組み内部留保を減らした結果であり、公益社団法人の本来の目的に叶った取り組みによるものです。このことは、法人全体として次年度の活動に対して、約4,575万円の資金を残していることにも表れています。

同様に災害支援会計については、新型コロナウィルス感染症対策や新たな取り組みとして災害時緊急時LINEを設置するとともに各地で発生する災害（水害・地震等）に際して、情報提供等の活動を積極的に行うことで生じた費用です。

なお、今期末における法人全体の正味財産額は約6,619万円であり、この中には、基本財産1,000万円、あかりちゃん夢基金事業資産244万、運動推進資産800万円を含みます。

●公益社団法人日本てんかん協会●
正味財産増減計算書
 令和4年 4月 1日から令和5年 3月 31日まで

[単位:円]

科目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	201	201	0
運動推進資産運用益	45	36	9
受取入会金	184,800	133,000	51,800
受取会費	23,935,440	24,408,000	△ 472,560
事業収益	12,444,438	12,485,388	△ 40,950
受取補助金等	16,304,074	13,922,578	2,381,496
受取負担金	1,705,368	1,264,609	440,759
受取寄附金	14,600,062	10,860,180	3,739,882
受取協賛金	16,764,214	13,819,581	2,944,633
雑収益	565,258	703,389	△ 138,131
経常収益計	86,503,900	77,596,962	8,906,938
(2) 経常費用			
事業費	83,140,401	73,158,615	9,981,786
管理費	926,473	690,860	235,613
経常費用計	84,066,874	73,849,475	10,217,399
評価損益等調整前当期経常増減額	2,437,026	3,747,487	△ 1,310,461
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	2,437,026	3,747,487	△ 1,310,461
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	2,437,026	3,747,487	△ 1,310,461
一般正味財産期首残高	63,751,461	60,003,974	3,747,487
一般正味財産期末残高	66,188,487	63,751,461	2,437,026
II 指定正味財産増減の部			
受取補助金等	0	0	0
一般正味財産への振替額	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	66,188,487	63,751,461	2,437,026

●公益社団法人日本てんかん協会●

2022年度正味財産増減計算書内訳表

令和 4年 4月 1日から令和 5年 3月 31日まで

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	合計
	てんかんのある人及びその家族の医療と福祉の増進		
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	201	0	201
基本財産受取利息	201		201
運動推進資産運用益	45	0	45
運動推進資産受取利息	45		45
受取入会金	184,800	0	184,800
受取入会金	184,800		184,800
受取会費	23,008,967	926,473	23,935,440
普通会員受取会費	17,092,867	926,473	18,019,340
賛助会員受取会費	4,979,700		4,979,700
購読会員受取会費	936,400		936,400
事業収益	12,444,438	0	12,444,438
書籍販売事業	880,438		880,438
講座	11,454,000		11,454,000
その他の事業	110,000		110,000
受取補助金等	16,304,074	0	16,304,074
地方公共団体	11,891,398		11,891,398
民間	4,412,676		4,412,676
受取負担金	1,705,368	0	1,705,368
講座等	1,355,500		1,355,500
その他	349,868		349,868
受取寄附金	14,600,062	0	14,600,062
受取協賛金	16,764,214	0	16,764,214
雑収益	565,258	0	565,258
受取利息	417		417
その他収益	564,841		564,841
経常収益計	85,577,427	926,473	86,503,900
(2) 経常費用			
事業費	83,140,401		83,140,401
役員報酬	1,069,200		1,069,200
給料手当	10,494,967		10,494,967
臨時雇賃金	8,114,155		8,114,155
仕入費	561,297		561,297
退職金掛金	341,160		341,160
法定福利費	2,383,940		2,383,940
福利厚生費	82,240		82,240
会議費	1,861,448		1,861,448
旅費交通費	6,475,758		6,475,758
通信運搬費	9,403,914		9,403,914
広告宣伝費	0		0
消耗品費	3,235,732		3,235,732
修繕費	0		0
印刷製本費	11,346,122		11,346,122
水道光熱費	194,247		194,247
賃借料	13,644,290		13,644,290
保険料	121,596		121,596
諸謝金	844,500		844,500
租税公課	585,973		585,973
負担金支出	4,371,000		4,371,000
委託費	2,982,554		2,982,554
雑費	5,026,308		5,026,308

管理費		926,473	926,473
役員報酬		10,800	10,800
給料手当		24,693	24,693
法定福利費		4,541	4,541
福利厚生費		427	427
会議費		734,186	734,186
旅費交通費		4,686	4,686
通信運搬費		83,856	83,856
消耗品費		3,187	3,187
印刷製本費		41	41
水道光熱費		1,962	1,962
賃借料		42,141	42,141
保険料		70	70
諸謝金		5,500	5,500
租税公課		3,972	3,972
雑費		6,411	6,411
経常費用計	83,140,401	926,473	84,066,874
評価損益等調整前当期経常増減額	2,437,026	0	2,437,026
当期経常増減額	2,437,026	0	2,437,026
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
他会計振替前当期一般正味財産増減額	2,437,026	0	2,437,026
他会計振替額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	2,437,026	0	2,437,026
一般正味財産期首残高	63,751,461	0	63,751,461
一般正味財産期末残高	66,188,487	0	66,188,487
II 指定正味財産増減の部			
受取補助金等	0	0	0
一般正味財産への振替額	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	66,188,487	0	66,188,487

貸借対照表

令和5年3月31日現在

単位:円

科目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	53,787,523	53,979,581	△ 192,058
未収金	6,029,161	2,454,130	3,575,031
前払金	400,661	27,380	373,281
立替金	0	64,984	△ 64,984
仮払金	23,165	0	23,165
商品	3,806,443	3,659,331	147,112
貯蔵品	5,881	14,646	△ 8,765
流動資産合計	64,052,834	60,200,052	3,852,782
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金(信託銀行)	10,000,000	10,000,000	0
定期預金	0	0	0
基本財産合計	10,000,000	10,000,000	0
(2) 特定資産			
情報誌刊行事業資産	0	3,747,487	△ 3,747,487
特定資産合計	0	3,747,487	△ 3,747,487
(2) 特定資産			
あかりちゃん夢基金事業資産	2,437,026	0	2,437,026
特定資産合計	2,437,026	0	2,437,026
(3) その他の固定資産			
運動推進資産(定期預金)	8,000,000	8,000,000	0
その他の固定資産合計	8,000,000	8,000,000	0
固定資産合計	20,437,026	21,747,487	△ 1,310,461
資産合計	84,489,860	81,947,539	2,542,321
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	3,993,028	561,226	3,431,802
前受会費	13,858,100	16,244,640	△ 2,386,540
前受金	142,000	1,022,000	△ 880,000
預り金	308,245	358,712	△ 50,467
仮受金	0	9,500	△ 9,500
流動負債合計	18,301,373	18,196,078	105,295
2. 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	18,301,373	18,196,078	105,295
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
寄附金	0	0	0
指定正味財産合計	0	0	0
2. 一般正味財産			
一般正味財産合計	66,188,487	63,751,461	2,437,026
(うち基本財産への充当額)	(10,000,000)	(10,000,000)	0
(情報誌刊行事業資産への充当額)	(0)	(3,747,487)	(3,747,487)
(あかりちゃん夢基金資産への充当額)	(2,437,026)	(0)	(2,437,026)
(うち運動推進資産への充当額)	(8,000,000)	(8,000,000)	(0)
正味財産合計	66,188,487	63,751,461	2,437,026
負債及び正味財産合計	84,489,860	81,947,539	2,542,321

●公益社団法人日本てんかん協会
財産目録

令和5年3月31日現在

(単位:円)

(固定資産)		場所・物量等		使用目的等		金額
科目						
(流動資産)						
現金	普通預金	手元保管 みずほ銀行・早稲田支店 みずほ銀行・大塚支店 三菱東京UFJ銀行・高田馬場支店 りそな銀行・早稲田支店 りそな銀行・大塚出張所 東鶴信用金庫・大塚支店 ゆうちょ銀行 振替貯金	運転資金として 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃 「波」協賛金、他 書籍 次年度地方請求経費 2023年度事業経費 切手			
未収金	商品 仮払金 前払金 貯蔵品					
流動資産合計						64,052,834
(固定資産)						
基本財産	定期預金 普通預金 普通預金 普通預金 普通預金 定期預金	三井住友信託銀行・本店営業部 りそな銀行・大塚出張所 三菱東京UFJ銀行・高田馬場支店 郵便振替口座 三井住友信託銀行・本店営業部 三井住友信託銀行・本店営業部	公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業の財源として使用 あかりちゃん夢基金事業資産 てんかん運動推進のための公益目的の保有財産であり、運用益を公益目的事業の財源として使用 てんかん運動推進のための公益目的の保有財産であり、運用益を公益目的事業の財源として使用 てんかん運動推進のための公益目的の保有財産であり、運用益を公益目的事業の財源として使用 てんかん運動推進のための公益目的の保有財産であり、運用益を公益目的事業の財源として使用	10,000,000 2,437,026 5,000,000 2,636,960 256,832 106,208		
運動推進資産						
資産合計						20,437,026
(流動負債)	未払金 前受金 前受会費 預り金			スターティア、他 情報誌「波」広告料 2023年度会費 給与源泉税、住民税、他	84,489,860	
流動負債合計						18,301,373
負債合計						18,301,373
正味財産						66,188,487

●公益社団法人日本てんかん協会●

2022（令和4）年度会計報告書

注記事項

1. 継続事業の前提に関する注記

…… 該当なし。

2. 重要な会計方針

1). 棚卸資産の評価基準および評価方法 …… 最終仕入原価法を採用している。

2). 消費税の会計処理 …… 税込方式を採用している。

3. 会計方針の変更

…… 該当なし。

4. 公益目的保有財産の増減額および残高、財源等

…… 基本財産及び特定資産の増減及びその残高、財源等は、次のとおりである。

1). 基本財産

(単位：円)

科 目	前期末残高 (2022. 03. 31)	当期増加額	当期減少額	当期末残高 (2023. 03. 31)	うち一般正味財産 からの充当額(*1)
定期預金	10,000,000	0	0	10,000,000	10,000,000
合 計	10,000,000	0	0	10,000,000	10,000,000

* 1 正味財産中、全額が一般正味財産であり、指定正味財産はない。

2). 情報誌の刊行及び取扱い事業資産

(単位：円)

科 目	前期末残高 (2022. 03. 31)	当期増加額	当期減少額	当期末残高 (2023. 03. 31)	うち一般正味財産 からの充当額(*1)
普通預金	3,747,487	0	3,747,487	0	0
合 計	3,747,487	0	3,747,487	0	0

* 1 正味財産中、全額が一般正味財産であり、指定正味財産はない。

3). あかりちゃん夢基金事業資産

(単位：円)

科 目	前期末残高 (2022. 03. 31)	当期増加額	当期減少額	当期末残高 (2023. 03. 31)	うち一般正味財産 からの充当額(*1)
普通預金	0	2,437,026	0	2,437,026	2,437,026
合 計	0	2,437,026	0	2,437,026	2,437,026

* 1 正味財産中、全額が一般正味財産であり、指定正味財産はない。

4). てんかん運動推進資産

(単位：円)

科 目	前期末残高 (2022. 03. 31)	当期増加額	当期減少額	当期末残高 (2023. 03. 31)	うち一般正味財産 からの充当額(*1)
普通預金	8,000,000	7,893,792	7,893,792	8,000,000	8,000,000
合 計	8,000,000	7,893,792	7,893,792	8,000,000	8,000,000

* 1 正味財産中、全額が一般正味財産であり、指定正味財産はない。

5. 担保に供している資産

…… 該当なし。

6. 固定資産の取得価格、減価償却累計額および当期末残高

…… 該当なし。

7. 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高および当該債権の当期末残高

…… 該当なし。

8. 保証債務（債務保証を主たる目的事業としている場合を除く。）等の偶発債務

…… 該当なし。

9. 満期保有目的の債権の内訳並びに帳簿価格、時価および評価損益

…… 該当なし。

10. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額および残高

……補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減および残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高 (2023. 03. 31)	当期増加額	当期減少額	当期末残高 (2023. 03. 31)	貸借対照表上 の記載区分
補助金						
民間補助金	(福) 全国心身障害児 福祉財団	0	403, 876	403, 876	0	記載なし
民間助成金	三菱財團	0	4, 000, 000	4, 000, 000	0	記載なし
地方自治体	地方自治体	0	11, 891, 398	11, 891, 398	0	記載なし
助成金						
民間助成金	ソウェルクラブ	0	8, 800	8, 800	0	記載なし
合 計		0	16, 304, 074	16, 304, 074	0	

11. 基金および代替基金の増減およびその残高

…… 該当なし。

12. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

…… 該当なし。

13. 関連当事者との取引の内容

…… 該当なし。

14. キャッシュフロー計算書の資金の範囲および重要な非資金取引

…… キャッシュフロー計算書は、作成しておりません。

15. 重要な後発事象

…… 該当なし。

16. その他

…… 該当なし。

正味財産増減計算書
2022年4月1日から2023年3月31日まで

公益社団法人 日本てんかん協会
(単位:円)

一般会計

科目	予算	決算	
【一般正味財産増減の部】			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本基金財産運用			
基本財産利息収入	1,000	201	
運動推進資産利息収入	0	0	201
特定資産運用			
特定資産利息収入	1,000	45	45
入会金			
正会員入会金	80,000	127,000	
賛助会員入会金	10,000	3,000	
購読会員入会金	10,000	17,000	
家族会員入会金	10,000	18,000	165,000
会費			
正会員会費収入	18,000,000	18,019,340	
賛助会員会費収入	6,000,000	4,979,700	23,935,440
購読会員会費	920,000	936,400	
事業収入			
社会啓発	10,100,000	11,454,000	
療育指導	6,000	0	
その他	175,000	110,000	11,564,000
補助金等収入			
民間補助金収入	400,000	403,876	
民間助成金	0	8,800	412,676
負担金収入			
調査研究	150,000	0	
その他	1,490,000	349,000	349,000
寄付金収入			
寄付金収入	3,000,000	4,244,089	
協賛金収入	18,905,000	16,764,214	
切手		83,726	
雑収入			
受取利息	1,000	353	
雑収入	50,000	36,000	36,353
繰入金収入			
繰入金収入	74,000	0	0
合計	59,383,000		57,554,744
科目		決算	
(2) 経常費用			
社会啓発事業費			
給料手当	1,355,000	3,667,843	
臨時雇賃金	910,000	1,454,773	
退職金掛金	105,000	136,464	
法定福利費	230,000	622,314	
福利厚生費	10,000	16,769	
旅費交通費	469,000	367,912	
通信運搬費	2,803,000	2,341,840	
消耗品費	50,000	207,246	
印刷製本費	10,175,000	6,531,211	
賃借料	1,300,000	1,970,162	
諸謝金	670,000	300,000	
租税公課	0	2,000	
負担金支出	116,000	0	
委託費	2,051,000	1,176,905	
雑費	62,000	210,401	
予備費	50,000	0	19,005,840

療育指導事業費			
給料手当	1, 570, 000	1, 824, 908	
臨時雇賃金	850, 000	932, 521	
退職金掛金	88, 000	102, 348	
法定福利費	160, 000	301, 050	
福利厚生費	80, 000	8, 385	
旅費交通費	128, 000	188, 332	
通信運搬費	0	4, 540	
賃借料	10, 000	0	
助成金支出	60, 000	20, 000	
委託費	8, 000, 000	7, 657, 800	
雑費	44, 000	77, 840	11, 117, 724
調査研究事業費			
給料手当	1, 200, 000	1, 234, 633	
臨時雇賃金	910, 000	0	
法定福利費	0	232, 043	
福利厚生費	0	3, 200	
旅費交通費	0	265, 258	
通信運搬費	10, 000	278, 549	
消耗品費	0	89, 877	
印刷製本費	160, 000	87, 312	
賃借料	160, 000	165, 000	
諸謝金	200, 000	0	
負担金支出	111, 000	47, 395	
寄付金支出	58, 000	70, 604	
雑費	12, 000	466, 038	
予備費	505, 000	0	2, 939, 909
その他の事業費			
給料手当	2, 770, 000	1, 323, 024	
臨時雇賃金	910, 000	956, 745	
退職金掛金	88, 000	102, 348	
法定福利費	160, 000	778, 991	
福利厚生費	80, 000	11, 584	
旅費交通費	2, 000, 000	3, 024, 692	
通信運搬費	374, 000	190, 307	
消耗品費	165, 000	61, 307	
印刷製本費	1, 110, 000	417, 957	
賃借料	160, 000	275, 654	
保険料	0	114, 680	
租税公課	0	4, 000	
諸謝金	200, 000	0	
負担金支出	201, 000	1, 621, 190	
委託費	0	865, 649	
雑費	595, 000	1, 370, 465	
予備費	230, 000	0	11, 118, 593
管理費			
役員報酬	1, 080, 000	1, 080, 000	
給料手当	2, 400, 000	2, 469, 252	
法定福利費	1, 250, 000	454, 083	
福利厚生費	56, 000	42, 729	
会議費	194, 000	734, 186	
旅費交通費	845, 000	468, 568	
通信運搬費	975, 000	479, 236	
消耗品費	772, 000	318, 703	
印刷製本費	375, 000	4, 149	
光熱水料費	144, 000	196, 209	
賃借料	5, 182, 000	4, 214, 100	
火災保険料	8, 000	6, 986	
諸謝金	550, 000	550, 000	
租税公課	200, 000	397, 165	
負担金支出	450, 000	0	
寄付金支出	30, 000	0	
雑費	8, 000	641, 089	
予備費	0	0	12, 056, 455
雑損失	0	0	0
繰入金支出			
繰入金支出		0	0
合計	58, 234, 000		56, 238, 521
当期正味財産増加額			1, 316, 223
繰越正味財産期首残高			35, 895, 521
正味財産期末残高			37, 211, 744

●公益社団法人日本てんかん協会●

2022(令和4)年度一般会計報告

2022(令和4)年度収支計算書

(自2022年4月1日～至2023年3月31日)

当期収入総額 65,448,536 円

当期支出総額 64,132,313 円

当期差引残高 1,316,223 円

[収入の部]

科目		予算額 (円)	決算額 (円)	増減 (円)	備考
大科目	中科目				
基本財産運用	基本財産利息	1,000	201	-799	定期預金利息
	小計	1,000	201	-799	
特定資産運用	特定資産利息	1,000	45	-955	定期預金利息
	小計	1,000	45	-955	
入会金	正会員入会金	80,000	127,000	47,000	新入会者
	賛助会員入会金	10,000	3,000	-7,000	同上
	購読会員入会金	10,000	17,000	7,000	同上
	家族会員入会金	10,000	18,000	8,000	同上
	小計	110,000	165,000	55,000	
会費	正会員会費	18,000,000	18,019,340	19,340	個人会費
	賛助会員会費	6,000,000	4,979,700	-1,020,300	個人・団体会費
	購読会員会費	920,000	936,400	16,400	個人・団体会費
	小計	24,920,000	23,935,440	-984,560	
事業収入	社会啓発	10,100,000	11,454,000	1,354,000	基礎講座受講料
	療育指導	6,000	0	-6,000	相談料
	その他	175,000	110,000	-65,000	全国大会参加費
	小計	10,281,000	11,564,000	1,283,000	
補助金等	民間補助金収入	400,000	403,876	3,876	療育研修(担い手育成)・キャンプ ※全國財団経由
	民間助成金	0	8,800	8,800	ソウエルクラブ
	小計	400,000	412,676	12,676	
負担金収入	調査研究	150,000	0	-150,000	基礎講座宿泊費・懇親会費
	その他	1,490,000	349,000	-1,141,000	支部活動者会議宿泊費・懇親会費
	小計	1,640,000	349,000	-1,291,000	
寄付金	寄付金	3,000,000	4,244,089	1,244,089	個人、企業、団体、等
	協賛金	18,905,000	16,764,214	-2,140,786	協賛購読、協賛広告、事業協賛金
	切手	0	83,726	83,726	切手寄付
	小計	21,905,000	21,092,029	-812,971	
雑収入	受取利息	1,000	353	-647	各銀行口座
	雑収入	50,000	36,000	-14,000	監修物等印税、他
	小計	51,000	36,353	-14,647	
固定資産売却益	什器備品売却	0	0	0	
	投資有価証券売却	0	0	0	
	小計	0	0	0	
敷金・保証金戻	敷金戻り	0	0	0	
	保証金戻り	0	0	0	
	小計	0	0	0	
借入金	短期借入金	0	0	0	
	長期借入金	0	0	0	
	小計	0	0	0	
普通預金収入		0	4,000,000	4,000,000	運動推進資金
定期預金収入		0	3,893,792	3,893,792	運動推進資金
繰入金収入		74,000	0	-74,000	
当期収入合計		59,383,000	65,448,536	6,065,536	
前期繰越収支差額		17,896,000	17,895,521	-479	
収入合計		77,279,000	83,344,057	6,065,057	

[支出の部]

科目		予算額 (円)	決算額 (円)	増減 (円)	備考
大科目	中科目				
社会啓発事業費	給与手当	1,355,000	3,667,843	2,312,843	職員2名分
	臨時雇賃金	910,000	1,454,773	544,773	非常勤職員1名分
	退職金掛金	105,000	136,464	31,464	職員2名分
	法定福利費	230,000	622,314	392,314	同上
	福利厚生費	10,000	16,769	6,769	同上
	旅費交通費	469,000	367,912	-101,088	波編集、基礎講座、てんかん月間、等
	通信運搬費	2,803,000	2,341,840	-461,160	基礎講座案内書送付、等
	消耗品費	50,000	207,246	157,246	HP、基礎講座、てんかん月間、等
	印刷製本費	10,175,000	6,531,211	-3,643,789	波印刷費、てんかん月間、等
	賃借料	1,300,000	1,970,162	670,162	基礎講座会場費、てんかん月間、等
	諸謝金	670,000	300,000	-370,000	基礎講座講師、等
	租税公課	0	2,000	2,000	波印刷費
	負担金支出	116,000	0	-116,000	基礎講座宿泊費、懇親会費
	委託費	2,051,000	1,176,905	-874,095	基礎講座、てんかん月間
	雑費	62,000	210,401	148,401	波編集、波編集会議、基礎講座経費、送金手数料
	予備費	50,000	0	-50,000	
	小計	20,356,000	19,005,840	-1,350,160	
療育指導事業費	給与手当	1,570,000	1,824,908	254,908	職員1名分
	臨時雇賃金	850,000	932,521	82,521	相談員相当(4名)分
	退職金掛金	88,000	102,348	14,348	職員1名分
	法定福利費	160,000	301,050	141,050	同上
	福利厚生費	80,000	8,385	-71,615	同上
	旅費交通費	128,000	188,332	60,332	相談員相当(4名)分、他
	通信運搬費	0	4,540	4,540	相談資料、他
	賃借料	10,000	0	-10,000	当事者活動
	助成金支出	60,000	20,000	-40,000	支部キャンプ
	委託費	8,000,000	7,657,800	-342,200	支部還付金
	雑費	44,000	77,840	33,840	送金手数料
	小計	10,990,000	11,117,724	127,724	
調査研究事業費	給与手当	1,200,000	1,234,633	34,633	職員1名分
	臨時雇賃金	910,000	0	-910,000	
	法定福利費	0	232,043	232,043	同上
	福利厚生費	0	3,200	3,200	同上
	旅費交通費	0	265,258	265,258	同上
	通信運搬費	10,000	278,549	268,549	IED
	消耗品費	0	89,877	89,877	IED
	印刷製本費	160,000	87,312	-72,688	調査活動
	賃借料	160,000	165,000	5,000	IED
	諸謝金	200,000	0	-200,000	
	負担金支出	111,000	47,395	-63,605	IBE会費
	寄付金支出	58,000	70,604	12,604	IBE寄付
	雑費	12,000	466,038	454,038	送金手数料、他
	予備費	505,000	0	-505,000	
	小計	3,326,000	2,939,909	-386,091	

科目		予算額 (円)	決算額 (円)	増減 (円)	備考
大科目	中科目				
その他事業費	給与手当	2,770,000	1,323,024	-1,446,976	職員2名分
	臨時雇賃金	910,000	956,745	46,745	非常勤職員1名分
	退職金掛金	88,000	102,348	14,348	職員2名分
	法定福利費	160,000	778,991	618,991	同上
	福利厚生費	80,000	11,584	-68,416	同上
	旅費交通費	2,000,000	3,024,692	1,024,692	全国大会・委員会活動、他
	通信運搬費	374,000	190,307	-183,693	全国大会・署名用紙・案内送付
	消耗品費	165,000	61,307	-103,693	全国大会
	印刷製本費	1,110,000	417,957	-692,043	講演署名用紙、等
	賃借料	160,000	275,654	115,654	全国大会
	保険料	0	114,680	114,680	全国大会
	諸謝金	200,000	0	-200,000	全国大会 講師謝金
	租税公課	0	4,000	4,000	全国大会
	負担金支出	201,000	1,621,190	1,420,190	全国大会交付金・来賓経費、等
	委託費	0	865,649	865,649	全国大会
	雑費	595,000	1,370,465	775,465	ブロック会議、送金手数料
	予備費	230,000	0	-230,000	
	小計	9,043,000	11,118,593	2,075,593	
管理費	役員報酬	1,080,000	1,080,000	0	1名分
	給与手当	2,400,000	2,469,252	69,252	職員1名分
	法定福利費	1,250,000	454,083	-795,917	同上
	福利厚生費	56,000	42,729	-13,271	同上
	会議費	194,000	734,186	540,186	総会、理事会
	旅費交通費	845,000	468,568	-376,432	役職員、等
	通信運搬費	975,000	479,236	-495,764	切手、宅配便
	消耗品費	772,000	318,703	-453,297	事務用品、紙、クリアファイル、HP修正等
	印刷製本費	375,000	4,149	-370,851	名刺、事務文書等
	水道光熱費	144,000	196,209	52,209	電気料金、他
	賃借料	5,182,000	4,214,100	-967,900	家賃、リース料、他
	火災保険料	8,000	6,986	-1,014	什器備品対象分
	諸謝金	550,000	550,000	0	監査料
	租税公課	200,000	397,165	197,165	消費税
	負担金支出	450,000	0	-450,000	会員管理システム保守
	寄付金支出	30,000	0	-30,000	慶弔費
	雑費	8,000	641,089	633,089	送金手数料、他
	予備費	0	0	0	
	小計	14,519,000	12,056,455	-2,462,545	
固定資産取得	什器備品購入	0	0	0	
	投資有価証券購入	0	0	0	
	小計	0	0	0	
借入金返済	短期借入金返済	0	0	0	
	長期借入金返済	0	0	0	
	小計	0	0	0	
	特定資産支出	0	0	0	特定資産
	郵便振替支出	0	2,636,960	2,636,960	運動推進資産
	普通預金預金支出	0	5,256,832	5,256,832	運動推進資産
	雑損失	0	0	0	
	繰入金支出	0	0	0	
	当期支出去合計	58,234,000	64,132,313	5,898,313	
	当期収支差額	1,149,000	1,316,223	167,223	
次期繰越収支差額		19,045,000	19,211,744	166,744	

一般会計・貸借対照表

2023(令和5)年3月31日現在

(単位：円)

資産の部			負債及び正味財産の部			
大科目	中科目	金額	大科目	中科目	金額	
流动資産	現金・預金	42,154,698	流动負債	未払金	260,672	
	未収金	2,222,073		前受金	142,000	
	立替金	26,314,221		前受会費	13,858,100	
	貯蔵品	5,881		預り金	37,648,183	
	前払金	400,661				
	仮払金	23,165				
	流动資産合計	71,120,699		流动負債合計		51,908,955
固定資産	基本財産	10,000,000	負債合計			51,908,955
	運動推進資産	8,000,000		一般正味財産合計		37,211,744
	その他の固定資産	0		(内基本財産への充当額)		(10,000,000)
	有形固定資産	0		(内運動推進資産への充当額)		(8,000,000)
	無形固定資産	0		(当期正味財産増加額)		(1,316,223)
	固定資産合計	18,000,000		正味財産合計		37,211,744
				負債及び正味財産合計		89,120,699
資産合計		89,120,699				89,120,699

一般会計・財産目録

2023(令和5)年3月31日現在
(単位:円)

資産の部		負債の部			
I. 流動資産		I. 流動負債			
1. 現金預金		1. 未払金			
1)現金手許有高	162,647	1)退職金掛金	85,290		
2)郵便振替口座	60,809	2)その他	128,538		
3)普通預金		3)社会啓発事業	46,844	260,672	
みずほ・早稲田	1,728,925				
みずほ・大塚	3,208,605				
三菱UFJ・高田馬場	1,259,608				
りそな・早稲田	22,186,154	2. 前受金	142,000	142,000	
りそな・大塚	3,154,784				
巣鴨信用金庫・大塚	10,000,000	3. 前受会費			
ゆうちょ	393,166	1)正会員	11,340,600		
	42,154,698	2)賛助会員	2,036,000		
		3)購読会員	481,500	13,858,100	
2. 未収金		3. 預り金			
1)補助金	350,000	1)住民税	162,800		
2)その他	0	2)所得税	9,189		
2)寄付金	1,872,073	3)保険料	136,256		
	2,222,073	4)地方機関	37,339,938	37,648,183	
3. 立替金					
1)出版部	25,918,819				
2)あかりちゃん夢基金	377,098				
3)三菱財団助成金会計	18,304				
	26,314,221				
4. 貯蔵品					
1)切手代金	5,881				
	5,881				
5. 前払金					
1)suicaチャージ	1,452				
2)その他	371,659				
3)その他の事業	27,550				
	400,661				
6. 仮払金	23,165	流動負債合計			51,908,955
	23,165				
流動資産合計		負債合計			51,908,955
II. 固定資産					
1. 基本財産		正味財産の部			
1)定期預金					
住友信託・本店営業部	10,000,000	一般正味財産			37,211,744
	10,000,000				
2. 運動推進資金					
1)定期預金		(内基本財産への充当額)			(10,000,000)
住友信託・本店営業部	106,208				
2)普通預金					
住友信託・本店営業部	256,832	(内運動推進資産への充当額)			(8,000,000)
三菱東京・高田馬場	5,000,000				
3)振替口座					
郵便振替	2,636,960	(当期正味財産増加額)			(1,316,223)
	8,000,000				
4. その他の固定資産					
1)有形固定資産	0				
2)無形固定資産	0				
固定資産合計		正味財産合計			37,211,744
資産合計		負債及び正味財産合計			89,120,699

正味財産増減計算書

2022年4月1日から2023年3月31日まで

公益社団法人 日本てんかん協会

出版部会計

(単位：円)

科目	予算	決算	
【一般正味財産増減の部】			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
売上			
(地方) 地方機関	1,400,000	788,261	
(一般) 一般・個人・書店	2,664,000	649,082	1,437,343
雑収入			
受取利息	0	3	3
繰入金収入			
繰入金収入	0	0	0
合計	4,064,000		1,437,346
(2) 経常費用			
仕入費	2,000,000		561,297
印刷製本費	400,000		325
広告宣伝費	30,000		0
通信運搬費	10,000		43,289
消耗品費	10,000		0
賃借料	1,400,000		1,320,000
租税公課	120,000		98,385
雜費	10,000		3,483
回収不能額	10,000		20
繰入金支出	74,000		0
合計	4,064,000		2,026,799
当期正味財産増加額			△ 589,453
繰越正味財産期首残高			△ 20,166,190
正味財産期末残高			△ 20,755,643

●公益社団法人日本てんかん協会●

2022(令和4)年度出版部会計報告

2022(令和4)年度収支計算書

(自2022年4月1日～至2023年3月31日)

当期収入総額	1,437,346 円
当期支出総額	2,026,799 円
当期差引残高	-589,453 円

[収入の部]

科目	予算額 (円)	決算額 (円)	増減 (円)	備考
売上(一般)	2,664,000	649,082	-2,014,918	個人、機関、書店、等
売上(地方)	1,400,000	788,261	-611,739	支部
雑収入	0	3	3	受取利息
繰入金収入	0	0		
当期収入合計	4,064,000	1,437,346	-2,626,654	
前期繰越収支差額	-20,166,000	-20,166,190	-190	
収入合計	-16,102,000	-18,728,844	-2,626,844	

[支出の部]

科目	予算額 (円)	決算額 (円)	増減 (円)	備考
仕入	2,000,000	561,297	-1,438,703	他出版社より買い取り
印刷製本費	400,000	325	-399,675	書籍増刷費
広告宣伝費	30,000	0	-30,000	宣伝費
通信運搬費	10,000	43,289	33,289	発送料
消耗品費	10,000	0	-10,000	事務用品
賃借料	1,400,000	1,320,000	-80,000	倉庫、リース料
租税公課	120,000	98,385	-21,615	消費税
雑費	10,000	3,483	-6,517	送金手数料、他
回収不能額	10,000	20	-9,980	過年度分書籍代金
繰入金支出	74,000	0	-74,000	
当期支出合計	4,064,000	2,026,799	-2,037,201	
当期収支差額	0	-589,453	-589,453	
次期繰越収支差額	-20,166,000	-20,755,643	-589,643	

出版部会計・貸借対照表

2023(令和5)年3月31日現在

(単位:円)

資産の部			負債及び正味財産の部			
大科目	中科目	金額	大科目	中科目	金額	
流動資産			流動負債			
現金・預金	1,300,305		未払金	25,919,479		
未収金	57,088		仮受金	0		
商品	3,806,443					
前払金	0					
	流動資産合計	5,163,836	流動負債合計		25,919,479	
			負債合計		25,919,479	
固定資産	その他の固定資産	0	一般正味財産		△ 20,755,643	
	固定資産合計	0	(当期正味財産増加額)		(589,453)	
			正味財産合計		△ 20,755,643	
資産合計		5,163,836	負債及び正味財産合計		5,163,836	

出版部会計・財産目録

2023(令和5)年3月31日現在

(単位:円)

資産の部		負債の部			
I. 流動資産		I. 流動負債			
1. 現金預金		1. 未払金			
1) 郵便振替口座	741,293	1) 一般会計	25,918,819		
2) 普通預金 東京三菱・高田馬場	559,012	2) その他	660	25,919,479	
2. 未収金 支部・個人 書店	52,218 4,870				
3. 商品在庫 協会在庫	3,806,443	流動負債合計		25,919,479	
流動資産合計					
		負債合計		25,919,479	
II. 固定資産		正味財産の部			
1. その他の固定資産		一般正味財産			
固定資産合計	0	(当期正味財産増加額)		△ 20,755,643	
		正味財産合計		(589,453)	
資産合計		負債及び正味財産合計		△ 20,755,643	
					5,163,836

正味財産増減計算書

2022年4月1日から2023年3月31日まで

公益社団法人 日本てんかん協会

三菱財団助成事業会計

(単位：円)

科目	予算	決算	
【一般正味財産増減の部】			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
補助金等収入			
民間助成金収入	4,000,000	4,000,000	4,000,000
雑収入			
受取利息	0	0	0
繰入金収入			
繰入金収入	0	0	0
合計	4,000,000		4,000,000
(2) 経常費用			
委託費	940,000		940,000
印刷製本費	580,000		580,000
臨時雇賃金	600,000		600,000
通信運搬費	750,000		750,000
雑費	140,000		140,000
会議費	990,000		990,000
合計	4,000,000		4,000,000
当期正味財産増加額			0
繰越正味財産期首残高			0
正味財産期末残高			0

●公益社団法人日本てんかん協会●

2022(令和4)三菱財団助成事業会計報告

2022(令和4)年度収支計算書

(自2022年4月1日～至2023年3月31日)

当期収入総額 4,000,000 円

当期支出総額 4,000,000 円

当期差引残高 0 円

[収入の部]

科目		予算額 (円)	決算額 (円)	増減 (円)	備考
大科目	中科目				
補助金等収入	民間助成金収入	4,000,000	4,000,000	0	
	小計	4,000,000	4,000,000	0	
雑収入	受取利息	0	0	0	銀行口座
	小計	0	0	0	
繰入金収入	繰入金収入	0	0	0	
	小計	0	0	0	
当期収入合計		4,000,000	4,000,000	0	
収入合計		4,000,000	4,000,000	0	

[支出の部]

科目		予算額 (円)	決算額 (円)	増減 (円)	備考
大科目	中科目				
療育指導事業	委託費	940,000	940,000	0	
	印刷製本費	580,000	580,000	0	
	臨時雇賃金	600,000	600,000	0	
	通信運搬費	750,000	750,000	0	
	雑費	140,000	140,000	0	
	会議費	990,000	990,000	0	
当期支出合計		4,000,000	4,000,000	0	
当期収支差額		0	0	0	
次期繰越収支差額		0	0	0	

三菱財団助成事業会計 • 貸借対照表

2023(令和5)年3月31日現在

(単位:円)

資産の部			負債及び正味財産の部			
大科目	中科目	金額	大科目	中科目	金額	
流動資産			流動負債			
	現金・預金	0		一般会計	18,304	
	未収金	3,750,000		未収金	3,731,696	
	流動資産合計	3,750,000		流動負債合計	3,750,000	
			負債合計			3,750,000
固定資産			一般正味財産合計			0
			(当期正味財産増加額)			(0)
	固定資産合計	0		正味財産合計		0
資産合計		3,750,000	負債及び正味財産合計			3,750,000

三菱財団助成事業会計 • 財産目録

2023(令和5)年3月31日現在

(単位:円)

資産の部 I. 流動資産 1. 現金預金 1) 普通預金 巣鴨信金・大塚	0	0	負債の部 1. 流動負債 1. 未収金 2. 一般会計	3,731,696 18,304	3,731,696 18,304	
2. 未収金	3,750,000	3,750,000	流動負債合計			3,750,000
流動資産合計		3,750,000	正味財産の部 一般正味財産 (当期正味財産増加額)			0 (0)
II. 固定資産			正味財産合計			0
固定資産合計		0	負債及び正味財産合計			3,750,000
資産合計		3,750,000				

正味財産増減計算書

2022年4月1日から2023年3月31日まで

公益社団法人 日本てんかん協会

災害支援会計

(単位：円)

科目	予算	決算	
【一般正味財産増減の部】			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
雑収入			
受取利息	0	57	57
合計	0		57
(2) 経常費用			
通信運搬費	0		31,816
雑費	0		220
合計	0		32,036
当期正味財産減少額			△ 31,979
繰越正味財産期首残高			5,684,648
正味財産期末残高			5,652,669

●公益社団法人日本てんかん協会●

2022(令和4)年度災害支援会計報告

2022(令和4)年度収支計算書

(自2022年4月1日～至2023年3月31日)

当期収入総額	57 円
当期支出総額	32,036 円
当期差引残高	-31,979 円

[収入の部]

科目	予算額 (円)	決算額 (円)	増減 (円)	備考
大科目	中科目			
寄付金収入	災害支援金	0	0	0
	小計	0	0	0
雑収入	受取利息	0	57	57 銀行口座
	小計	0	57	57
当期収入合計	0	57	57	
前期繰越収支差額	5,684,000	5,684,648	648	
収入合計	5,684,000	5,684,705	705	

[支出の部]

科目	予算額 (円)	決算額 (円)	増減 (円)	備考
大科目	中科目			
災害支援事業	印刷製本費	0	0	0
	旅費交通費	0	0	0
	通信運搬費	0	31,816	31,816
	雑費	0	220	220
当期支出合計	0	32,036	32,036	
当期収支差額	0	-31,979	-31,979	
次期繰越収支差額	5,684,000	5,652,669	-31,331	

災害支援会計・貸借対照表

2023(令和5)年3月31日現在

(単位:円)

資産の部				負債及び正味財産の部			
大科目	中科目	金額		大科目	中科目	金額	
流動資産				流動負債			
	現金・預金	5,652,669					
	流動資産合計		5,652,669	流動負債合計			0
固定資産				負債合計			0
				一般正味財産合計			5,652,669
				(当期正味財産減少額)			(31,979)
	固定資産合計		0	正味財産合計			5,652,669
資産合計			5,652,669	負債及び正味財産合計			5,652,669

災害支援会計・財産目録

2023(令和5)年3月31日現在

(単位:円)

資産の部				負債の部			
I. 流動資産				I. 流動負債			
I. 流動資産				流動負債合計			0
1. 現金預金				負債合計			0
1) 普通預金				正味財産の部			
三菱東京・高田馬場	5,652,669	5,652,669		一般正味財産			5,652,669
流動資産合計			5,652,669	(当期正味財産減少額)			(31,979)
II. 固定資産				正味財産合計			5,652,669
固定資産合計			0	負債及び正味財産合計			5,652,669
資産合計			5,652,669				5,652,669

正味財産増減計算書

2022年4月1日から2023年3月31日まで

公益社団法人 日本てんかん協会

あかりちゃん夢基金会計

(単位：円)

科目	予算	決算	
【一般正味財産増減の部】			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
寄付金収入			
寄付金収入	20,000,000	7,126,873	7,126,873
雑収入			
受取利息	0	4	4
繰入金収入			
繰入金収入	0	0	0
合計	20,000,000		7,126,877
(2) 経常費用			
印刷製本費	50,000		23,730
通信運搬費	30,000		12,390
消耗品費	300,000		350,158
雑費	30,000		820
基本財産預入支出			
定期預金支出	10,000,000		0
合計	10,410,000		387,098
当期正味財産増加額			6,739,779
繰越正味財産期首残高			0
正味財産期末残高			6,739,779

●公益社団法人日本てんかん協会●

2022(令和4)年度あかりちゃん夢基金会計報告

2022(令和4)年度収支計算書

(自2022年4月1日～至2023年3月31日)

当期収入総額	7,126,877 円
当期支出総額	2,824,124 円
当期差引残高	4,302,753 円

[収入の部]

科目		予算額 (円)	決算額 (円)	増減 (円)	備考
大科目	中科目				
寄付金収入	寄付金	20,000,000	7,126,873	-12,873,127	
	小計	20,000,000	7,126,873	-12,873,127	
雑収入	受取利息	0	4	4	銀行口座
	小計	0	4	4	
当期収入合計		20,000,000	7,126,877	-12,873,123	
前期繰越収支差額		0	0	0	
収入合計		20,000,000	7,126,877	-12,873,123	

[支出の部]

科目		予算額 (円)	決算額 (円)	増減 (円)	備考
大科目	中科目				
特定資産(夢基金)支出	印刷製本費	50,000	23,730	-26,270	
	通信運搬費	30,000	12,390	-17,610	
	消耗品費	300,000	350,158	50,158	
	雑費	30,000	820	-29,180	
	特定資産(運動推進)預入支	0	2,437,026	2,437,026	
	当期支出合計	10,410,000	2,824,124	-7,585,876	
	当期収支差額	9,590,000	4,302,753	-5,287,247	
次期繰越収支差額		9,590,000	4,302,753	-5,287,247	

あかりちゃん夢基金会計・貸借対照表

2023(令和5)年3月31日現在

(単位:円)

資産の部			負債及び正味財産の部		
大科目	中科目	金額	大科目	中科目	金額
流動資産			流動負債		
	現金・預金	4,679,851		一般会計	377,098
	流動資産合計	4,679,851		流動負債合計	377,098
			負債合計		377,098
固定資産			一般正味財産合計		6,739,779
	あかりちゃん夢基金資産	2,437,026	(当期正味財産増加額)		(6,739,779)
	固定資産合計	2,437,026	(夢基金資産への充当額)		(2,437,026)
			正味財産合計		6,739,779
資産合計		7,116,877	負債及び正味財産合計		7,116,877

あかりちゃん夢基金会計・財産目録

2023(令和5)年3月31日現在

(単位:円)

資産の部			負債の部		
I. 流動資産			I. 流動負債		
1. 現金預金			一般会計	377,098	377,098
1) 普通預金			流動負債合計		377,098
りそな・大塚	4,679,851	4,679,851	負債合計		377,098
流動資産合計			正味財産の部		
II. 固定資産			一般正味財産		6,739,779
II. 固定資産			(当期正味財産増加額)		(6,739,779)
1) 普通預金					
りそな・大塚	2,437,026	2,437,026	正味財産合計		6,739,779
固定資産合計		2,437,026	負債及び正味財産合計		7,116,877
資産合計		7,116,877			

正味財産増減計算書

2022年4月1日から2023年3月31日まで

公益社団法人 日本てんかん協会

支部会計

(単位：円)

科目	予算	決算	
【一般正味財産増減の部】			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
本部還付金	8,000,000	7,657,800	7,657,800
本部助成金	60,000	20,000	20,000
入会金	94,000	19,800	19,800
事業収入			
書籍販売	466,000	231,356	231,356
補助金等収入			
地方公共団体	12,616,000	11,891,398	11,891,398
負担金収入			
社会啓発	2,797,000	1,355,500	
その他	0	868	1,356,368
寄付金収入			
寄付金収入	2,266,000	3,145,374	3,145,374
雑収入			
雑収入	607,000	528,841	528,841
繰入金収入			
繰入金収入	0	0	0
合計	26,906,000		24,850,937
(2) 経常費用			
仕入費	1,700,000		144,790
印刷製本費	6,821,000		3,701,479
賃金	2,901,000		4,170,116
会議費	1,510,000		871,448
旅費交通費	7,474,000		2,165,682
通信運搬費	5,568,000		5,355,803
消耗品費	2,475,000		2,211,628
賃借料	6,475,000		5,741,515
租税公課	0		41,000
負担金支出	2,734,000		2,679,206
雑費	4,638,000		2,765,814
合計	42,296,000		29,848,481
当期正味財産減少額			(4,997,544)
繰越正味財産期首残高			42,337,482
正味財産期末残高			37,339,938

●公益社団法人日本てんかん協会●

2022(令和4)年度支部会計報告

2022(令和4)年度収支計算書

(自2022年4月1日～至2023年3月31日)

当期収入総額 24,850,937 円

当期支出総額 29,848,481 円

当期差引残高 -4,997,544 円

[収入の部]

科目		予算額 (円)	決算額 (円)	増減 (円)	備考
大科目	中科目				
本部還付金	-	8,000,000	7,657,800	-342,200	年1回
	小計	8,000,000	7,657,800	-342,200	
本部助成金	-	60,000	20,000	-40,000	キャンプ
	小計	60,000	20,000	-40,000	
入会金	-	94,000	19,800	-74,200	新入会者
	小計	94,000	19,800	-74,200	
事業収入	書籍販売	466,000	231,356	-234,644	書籍売上
	小計	466,000	231,356	-234,644	
補助金等	地方公共団体	12,616,000	11,891,398	-724,602	地方公共団体等
	小計	12,616,000	11,891,398	-724,602	
負担金収入	社会啓発	2,797,000	1,355,500	-1,441,500	講座、等
	その他	0	868	868	ブロック会議、大会、等
	小計	2,797,000	1,356,368	-1,440,632	
寄付金	寄付金	2,266,000	3,145,374	879,374	個人寄付金、他
	小計	2,266,000	3,145,374	879,374	
雑収入	雑収入	607,000	528,841	-78,159	金融機関預け入れ利息、雑収入
	小計	607,000	528,841	-78,159	
他会計繰入金		0	0	0	
当期収入合計		26,906,000	24,850,937	-2,055,063	
前期繰越収支差額		43,306,033	42,337,482	-968,551	
収入合計		70,212,033	67,188,419	-3,023,614	

[支出の部]

科目	予算額 (円)	決算額 (円)	増減 (千円)	備考
仕 入	1,400,000	144,790	-1,255,210	本部よりの受託販売
印刷製本費	5,144,000	3,701,479	-1,442,521	資料印刷、等
賃 金	3,679,000	4,170,116	491,116	スタッフ賃金
会 議 費	1,789,000	871,448	-917,552	支部総会、世話人会、等
旅費交通費	6,671,000	2,165,682	-4,505,318	移動経費
通信運搬費	5,683,000	5,355,803	-327,197	発送料
消 耗 品 費	2,254,000	2,211,628	-42,372	事務用品
賃 借 料	6,406,000	5,741,515	-664,485	事務所賃料、他
租税公課	0	41,000	41,000	消費税
負担金支出	3,297,000	2,679,206	-617,794	講座、活動者会議
雑 費	4,110,000	2,765,814	-1,344,186	手数料、他
特定資産支出	0	0	0	
当期支出合計	40,433,000	29,848,481	-10,584,519	
当期収支差額	-13,527,000	-4,997,544	8,529,456	
次期繰越収支差額	29,779,033	37,339,938	7,560,905	

支部会計・貸借対照表

2023(令和5)年3月31日現在

(単位:円)

資産の部			負債及び正味財産の部		
大科目	中科目	金額	大科目	中科目	金額
流動資産			流動負債		
	現金・預金	37,339,938		流動負債合計	0
	流動資産合計	37,339,938	負債合計		0
固定資産	地域活動推進資産	0	一般正味財産		37,339,938
	その他の固定資産	0	(当期正味財産減少額)		(4,997,544)
	固定資産合計	0	正味財産合計		37,339,938
資産合計		37,339,938	負債及び正味財産合計		37,339,938

支部会計・財産目録

2023(令和5)年3月31日現在

(単位:円)

資産の部		負債の部	
I. 流動資産	II. 固定資産	I. 流動負債	II. 固定負債
1. 現金預金			
1) 現金			
2) 預金 法人口座	0		
	37,339,938		
流動資産合計		流動負債合計	0
	37,339,938	負債合計	0
	37,339,938	正味財産の部	
	37,339,938	一般正味財産	37,339,938
	0	(当期正味財産減少額)	(4,997,544)
II. 固定資産			
1. 地域活動推進資金			
1) 預金	0		
2. その他の固定資産	0		
固定資産合計	0		
資産合計	37,339,938	正味財産合計	37,339,938
	37,339,938	負債及び正味財産合計	37,339,938

正味財産増減計算書 総括表

2022(令和4)年4月1日より2023(令和5)年3月31日まで

(単位:円)

科目	一般会計	出版部会計	三菱財団助成事業会計	災害支援会計	あかりちやん夢基金会計	支部会計	相殺	合計
【増加原因の部】								
基本財産運用 運動推進資産利息収入	201 45	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	201 45
入会金	165,000	0	0	0	0	19,800	0	184,800
会費	23,935,440	0	0	0	0	0	0	23,935,440
本部還付金	0	0	0	0	0	7,657,800	△ 7,657,800	0
本部助成金	0	0	0	0	0	20,000	△ 20,000	0
事業収入	11,564,000	1,437,343	0	4,000,000	0	231,356	△ 788,261	12,444,438
補助金等収入	412,676	0	0	0	0	11,891,398	0	16,304,074
負担金収入	349,000	0	0	0	0	1,356,368	0	1,705,368
寄付金収入	21,094,029	0	0	0	0	7,126,873	3,145,374	31,364,276
雑収入	36,353	3	0	0	57	4	528,841	0
繰入金収入	0	0	0	0	0	0	0	565,258
合計	57,554,744	1,437,346	4,000,000	57	7,126,877	24,850,937	△ 8,466,061	86,503,900
【減少原因の部】								
社会啓発事業費	19,005,840	0	0	0	387,098	10,915,130	0	30,308,068
療育指導事業費	11,117,724	0	0	0	0	10,429,906	△ 7,677,800	13,869,830
調査研究事業費	2,939,909	0	4,000,000	0	0	74,952	0	70,014,861
その他の事業費	11,118,593	0	0	0	0	1,292,280	0	12,410,873
出版事業費	0	2,026,779	0	0	0	580,650	△ 788,261	1,819,168
災害支援事業費	0	0	0	32,036	0	0	0	32,036
管理費	12,056,455	0	0	0	0	6,555,563	0	18,612,018
回収不能額	0	20	0	0	0	0	0	20
雑損失	0	0	0	0	0	0	0	0
繰入金支出	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	56,238,521	2,026,799	4,000,000	32,036	387,098	29,848,481	△ 8,466,061	84,066,874
当期正味財産増加額	1,316,223	△ 589,453	0	△ 31,979	6,739,779	△ 4,997,544	0	2,437,026
前期繰越正味財産	35,895,521	△ 20,166,190	0	5,684,648	0	42,337,482	0	63,751,461
期末正味財産合計額	37,211,744	△ 20,755,643	0	5,652,669	6,739,779	37,339,938	0	66,188,487

収支計算書総括表

2022(令和4)年4月1日より2023(令和5)年3月31日まで

	一般会計	出版部会計	三菱財団 助成事業会計	災害支援会計	あがりちゃん 夢基金会計	支部会計	相殺	合計
【収入の部】								
基本財産運用収入	201	0	0	0	0	0	0	201
運動推進資産利息収入	45	0	0	0	0	0	0	45
入会金	165,000	0	0	0	19,800	0	0	184,800
会費	23,935,440	0	0	0	0	0	0	23,935,440
本部還付金	0	0	0	0	7,657,800	△ 7,657,800	0	0
本部助成金	0	0	0	0	20,000	△ 20,000	0	0
事業収入	11,564,000	1,437,343	0	0	0	231,356	△ 788,261	12,444,438
補助金等収入	412,676	0	4,000,000	0	0	11,891,398	0	16,304,074
負担金等収入	349,000	0	0	0	0	1,356,368	0	1,705,368
寄付金収入	21,092,029	0	0	0	7,126,873	3,145,374	4	31,364,276
雑収入	36,353	3	0	0	57	528,841	0	565,258
運動推進資産取崩収入	7,893,792	0	0	0	0	0	0	7,893,792
特定資産取崩収入	0	0	0	0	0	0	0	0
繰入金収入	65,448,536	1,437,346	4,000,000	57	7,126,877	24,850,937	△ 8,466,061	94,397,692
当期収入合計	17,895,521	△ 20,166,190	0	5,684,648	0	42,337,482	0	45,751,461
前期繰越収支差額								
収入合計	83,344,057	△ 18,728,844	4,000,000	5,684,705	7,126,877	67,188,419	△ 8,466,061	140,149,153
【支出の部】								
社会啓発事業	19,005,840	0	0	0	387,098	10,915,130	0	30,308,068
療育指導事業	11,117,724	0	0	0	0	10,429,906	△ 7,677,800	13,869,830
調査研究事業費	2,939,909	0	4,000,000	0	0	74,952	0	7,014,861
その他事業費	11,118,593	0	2,026,779	0	0	1,292,280	△ 788,261	12,410,873
出版事業費	0	0	0	0	0	580,650	0	1,819,168
災害支援事業費	0	0	0	0	0	0	0	32,036
管理費	12,056,455	0	0	0	6,555,563	0	0	18,612,018
回収不能額	0	20	0	0	0	0	0	20
特定資産積入支出	0	0	0	0	2,437,026	0	0	2,437,026
運動推進資産積入支出	7,893,792	0	0	0	0	0	0	7,893,792
雑損失	0	0	0	0	0	0	0	0
繰入金支出	64,132,313	2,026,799	4,000,000	32,036	2,824,124	29,848,481	△ 8,466,061	94,397,692
当期支出合計	1,316,223	△ 589,453	0	△ 31,979	4,302,753	△ 4,997,544	0	0
当期収支差額	19,211,744	△ 20,755,643	0	5,652,669	4,302,753	37,339,938	0	45,751,461
次期繰越収支差額								

(単位:円)

貸借対照表総括表

2023(令和5)年3月31日現在

(単位:円)

科目	一般会計	出版部会計	三菱財团助成事業会計	災害支援会計	あかりちゃん 夢基金会計	支部会計	相殺	合計
【資産の部】								
流动資産								
現金・預金	42,154,698	1,300,305	0	5,652,669	4,679,851	37,339,938	△ 37,339,938	53,787,523
未収金	2,222,073	57,088	3,750,000	0	0	0	0	6,029,161
前払金	400,661	0	0	0	0	0	0	400,661
立替金	26,314,221	0	0	0	0	0	△ 26,314,221	0
貯蔵品	5,881	0	0	0	0	0	0	5,881
商品	0	3,806,443	0	0	0	0	0	3,806,443
仮払金	23,165	0	0	0	0	0	0	23,165
流动資産合計	71,120,699	5,163,836	3,750,000	5,652,669	4,679,851	37,339,938	△ 63,654,159	64,052,834
固定資産								
基本財産	10,000,000	0	0	0	0	0	0	10,000,000
特定資産	0	0	0	0	0	0	0	2,437,026
運動推進資産	8,000,000	0	0	0	0	0	0	8,000,000
その他の固定資産	0	0	0	0	0	0	0	0
固定資産合計	18,000,000	0	0	0	0	0	0	20,437,026
資産合計	89,120,699	5,163,836	3,750,000	5,652,669	4,679,851	37,339,938	△ 63,654,159	84,489,860
【負債の部】								
流动負債								
未払金	260,672	25,919,479	3,750,000	0	377,098	0	△ 26,314,221	3,993,028
前受金	142,000	0	0	0	0	0	0	142,000
前受会費	13,858,100	0	0	0	0	0	△ 37,339,938	13,858,100
預り金	37,648,183	0	0	0	0	0	△ 63,654,159	308,245
流動負債合計	51,908,955	25,919,479	3,750,000	0	377,098	0	0	18,301,373
固定負債	0	0	0	0	0	0	0	0
負債合計	51,908,955	25,919,479	3,750,000	0	377,098	0	△ 63,654,159	18,301,373
【正味財産の部】								
正味財産	37,211,744	△ 20,755,643	0	5,652,669	6,739,779	37,339,938	0	66,188,487
負債及び正味財産合計	89,120,699	5,163,836	3,750,000	5,652,669	7,116,877	37,339,938	△ 63,654,159	84,489,860

監査報告書

私たち監事は、公益社団法人日本てんかん協会の2022(令和4)年度(2022年4月1日～2023年3月31日)の理事の職務執行を監査いたしました。その方法および結果について、次のとおり報告いたします。

1. 監査の方法およびその内容

- (1) 各監事は、理事および使用人(事務局)等と意思疎通を図り、情報の収集および監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議の議事録を基に、理事および使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務および財産の状況を調査いたしました。以上的方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討いたしました。
- (2) さらに、会計帳簿またはこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類(貸借対照表および正味財産増減計算書)およびその付属明細書ならびに財産目録について検討いたしました。

2. 監査意見

- (1) 事業報告等の監査結果
 - ①事業報告は、法令および定款にしたがい、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
 - ②理事の職務の執行に関する不正の行為または法令もしくは定款に違反する重大な事実は、認められません。
- (2) 計算書類およびその付属明細書ならびに財産目録の監査結果
 - ①計算書類およびその付属明細書ならびに財産目録は、法人の財産および損益の状況をすべての重要な点において、適正に示しているものと認めます。
 - ②当該年度の支出が公益目的事業に使用されていることを、確認しました。

2023年5月2日

公益社団法人 日本てんかん協会

監事 鶴井 啓司

監事 山内俊雄

公益社団法人 日本てんかん協会
2023(令和5)年度事業計画書の重点概要

はじめに

1973年に協会の前進である二つの組織が活動(てんかん運動)を始めてから、今年度は50年を迎えます。

50年という節目を迎えてんかん運動を支え推進してきた先達に感謝するとともに、これまでの活動を振り返り、一つ一つ積み上げてきた成果を評価します。

かつててんかんは、医療はもとより、福祉、教育、雇用など多くの場面で適切なサービスや支援を受けることができませんでしたが、今ではてんかんがあっても社会で活躍ができる環境が整ってきました。その背景には、てんかん運動を通じててんかんのある本人とその家族の声、それを支える医療者や福祉、教員などの専門職の知恵、そして多くのボランティアや市民の熱意と行政や企業の理解などがありました。

こうして、50年前に灯った小さな“あかり”は、今大きな炎となって全国を照らせるまでになりました。

一方で、まだまだ克服できない課題も残されています。てんかんに対する社会や市民への正しい情報が行き届かず、無知、誤解、偏見のため、「てんかんがある」と安心して話ができない社会状況があります。

さらにてんかん運動を進める私たち日本てんかん協会の組織・活動も、新しい時代に合ったものが求められています。

世界に目を向けるとWHO(世界保健機関)が全世界にてんかんケアの重要性を説き、各国にてんかん対策の具体的な行動計画の取り組みを発信しています。国内では政府がどこに住んでいても適切なてんかん診療が受けられることを目的に自治体と連携した「てんかん地域診療連携体制整備事業」を予算化し、昨年度までに半数を超える都道府県で取り組まれています。この事業を通じて、てんかん運動も行政や医療者としっかりとつながり、社会・市民に対して、てんかんの正しい基本情報を提供し、安心しててんかんとともに生きることができる社会の実現をめざしています。

てんかんを巡っては、約20年ぶりに会員・患者実状調査(三菱財団助成事業)を行い、てんかんのある人とその家族のおかれている現状を明らかにします。特に昨今社会問題にもなった、新型コロナウイルス感染症や抗てんかん薬も被害を受けた処方薬の流通制限、さらに未だに続くドラッグ・ラグの影響など最新の話題についても明らかにします。

てんかん運動もこの3年間は、コロナ禍の影響を受け活動に制限が生じていましたが、今年度はオンラインでの取り組みも活かしながら、てんかんのある人や家族が安心して話し合いができる、対面での活動を復活します。てんかん運動の担い手も高齢化が進み、次代を担う人材の育成と新しい地域活動を推進する組織の見直しも推進します。

このてんかん運動50周年を契機に、これから活動を時代に合った視点から再点検をし、安心して推進できるために「あかりちゃん夢基金」を昨年度創設し、今年度も全国で取り組みます。現在、年間1,000件を超える相談を受けている「てんかん相談専用ダイヤル」の全日(平日の日中)開設なども、この基金により実施が可能になる事をめざします。

これらの現状を踏まえ、協会は改めて医療、福祉、保健、雇用、教育などすべての領域でてんかんのある人が暮らしやすい地域作りの視点から、政府に具体的な政策提言を行います。各種制度・サービスを、障害者福祉の観点だけでなく一般生活者の視点からも捉え直し、その具体的な支援策を検討・提言します。この際には、日本てんかん学会や全国てんかんセンター協議会など専門支援者との連携を図ります。そして、てんかんのある人同士が学習しあいそれを専門職がサポートするしくみも、大切な取り組みと考えています。

以上の内容から、今年度は次のような事業の重点項目と、組織強化に向けた取り組み方針を掲げ、具体的な事業計画を企画し提案いたします。

1.事業の重点項目

- 1).運動50周年事業での社会啓発を通じてんかんへの正しい理解を拡める
- 2).てんかんのある人が安心して相談ができる、各地の社会資源との連携を強化する
- 3).運動50周年を総括し、これから50年に向けた活動の道筋を示す

2.組織強化に向けて

- 1).会員の増員とともに、財政の安定化に向けて協賛金等の獲得を推進する
- 2).支部とブロックの役割を明確にして、地域活動のさらなる活性化を図る
- 3).外部支援者(委員)の組織化など、運動 50 周年以降を見据えた組織の見直し

2023(令和5)年度事業計画書

※事業名の、★印は新規事業、■印は50周年記念事業、◎印は特に力を入れる予定の事業

1. てんかんに関する正しい知識の普及啓発及び理解の促進を図るための講演会及び研修会の開催事業

「第46回てんかん基礎講座」の開催 ◎

※ユーシービージャパン、他協賛事業

- 1). 基礎講座企画委員会の開催
- 2). オンライン開催の充実を図る
- 3). 7月23日～8月21日の間、受講者が自由に視聴できる期間を設置
- 4). テーマと講師
 - ①てんかんとはどういう病気か／溝渕雅広(南一条脳内科)
 - ②てんかん発作の介助／川崎淳(川崎医院)
 - ③てんかんの治療1—薬物療法—／小出泰道(小出内科神経科)
 - ④ 同 2—外科療法—／多田恵曜(徳島大学)
 - ⑤てんかんに合併する精神科的障害の治療と対応／原恵子(原クリニック)
 - ⑥てんかんと発達障害／伊予田邦昭(福山市子ども発達支援センター)
 - ⑦てんかんと学校生活／今村淳(岐阜県総合医療センター)

「第50回全国大会」(運動50周年記念大会／東京)の開催 ◎ ※エーザイ、他協賛事業

- 1). 日程:10月21日(土)～22日(日)
- 2). 会場:ホテルメトロポリタン(池袋)、他
- 3). 内容:開会式(てんかん月間記念式典)、講演、祝賀会、閉会式、市民講座、他
- 4). 実行委員会の開催
- 5). 大会運営マニュアルの整備

運動50周年記念事業の実施★■

- 1). 記念特設サイト <https://www.jea-net.jp/tenkan50th>
- 2). 関連事業資料作成、配布
- 3). 記念グッズ(シール、缶バッヂ等)作成、配布
- 4). 特別表彰実施
- 5). SNS(Twitter)による情報発信

各種研修会の開催

- 1). 時勢に即して本部・支部において随時実施
- 2). 相談活動、社会援護事業の模索・準備、支部運営など

支部におけるさまざまな講座の開催

- 1). 全国47支部が年間で実施

「てんかんを正しく理解する月間(てんかん月間2023)」の実施 ◎

※日本てんかん学会と共催事業

- 1). 期間:10月1日～31日

- 2). イメージカラーとてんかんに関する宣言の周知
- 3). ポスター、パンフレット、あかりちゃんピンバッヂなどの作成・配布
- 4). 全国大会における中央集会(記念式典)の開催
- 5). 木村太郎記念賞、功労賞の贈呈
- 6). 中央イベント、SNSを活用した発信、全国統一活動の実施、マスコミを活用した啓発活動 ◎
- 7). 街頭啓発・署名活動・啓発パネル展・無料相談会などを全国各地で実施
- 8). てんかんをめぐる最新動向をテーマとしたメディアセミナーの開催 ◎
- 9). 市民公開講座の実施(オンラインを含)
- 10). てんかんをめぐるアート展の開催 ★◎
 - ①期間: 10月18日(水)~24日(火)
 - ②会場: ヒルトピア・アートスクエア(新宿)

第56回日本てんかん学会学術集会との連携プログラムの実施 ★◎

※第56回日本てんかん学会学術集会と共に実施

- 1). 日程: 10月20日(金)
- 2). 会場: 京王プラザホテル(5F)「コンコードA、B」
- 3). 内容:
 - ①てんかん運動50周年シンポジウム
 - ②若手医師やコメディカル職に家族・本人の声を届ける

専門職種に対するスキルアップ・プロジェクトの実施

※ユーシーピージャパン協賛事業

- 1). 企画委員会の実施
- 2). 日本てんかん学会、看護領域への協力要請
- 3). 各種学会におけるランチョンセミナーでの共同事業

各種パンフレット等の活用・作成

- 1). 協会活動広報PRビデオの活用
- 2). 運動50周年関連事業資料の配布 ★◎ 【再掲】
- 3). てんかんおよびてんかん運動を正しく知ってもらうための各種啓発資材の作成・配布
- 4). てんかん学会会員の医療機関に対しポスター・リーフレットを配付・掲示の促進
- 5). ホームページ(HP)での協会資料のダウンロードを実施

マスコミ等との連携

- 1). 自動車運転(免許)に関する適切な情報提供 ◎
- 2). 地震、台風、豪雨などの自然災害による被災地やウイルス感染への適切な情報提供
- 3). 正しい知識の普及、当事者とその家族による理解の促進(特に教育現場へ向けて)
- 4). マスメディアを対象とした事業の実施
- 5). 記事、放送内容への働きかけと情報提供
- 6). マスコミを通じた特集・連載記事の実現(働きかけ)
- 7). 「世界てんかんの日(IED)」を通じた啓発活動 ◎

※製薬企業等複数社による協賛金事業

情報提供機能の充実

- 1). 関連する図書・資料の整備・充実

- 2). 国内外の最新情報の確保・提供
- 3). インターネット(特にSNS)を活用した情報発信 ◎
- 4). IT・情報活用委員会の開催

迅速で適切な情報の提供

1. メールマガジンの発行

- 1). 適宜発行(希望登録者へのメール配信)
- 2). FAX・通信も随時発行
- 3). 本部・支部間連絡リスト renrakumiでも随時情報発信

2. ホームページ(インターネット)の充実 ◎

- 1). Home Page <https://www.jea-net.jp/>
- 2). #テンカン(100通りのジンセイ) <https://100stylesof.life/>
- 3). 運動50周年記念特設サイト <https://www.jea-net.jp/tenkan50th> ★■◎【再掲】
- 4). ニーズに即したWeb配信活動の継続的な見直し

権利擁護活動

- 1). 全国各地から寄せられたSOSに随時対応
- 2). 各領域の社会資源と連携をした支援活動

2. てんかんのある人とその家族に対する相談及び指導等の支援事業

てんかんに関する相談および支援

- 1). 法に則した自動車運転に関する適切な指導 ◎
- 2). 地震、台風、豪雨などの自然災害被災者への相談支援活動と「災害対応ガイド」の配布
- 3). 専門相談員等による電話相談(本部では毎週3回)・来所相談(本部では随時)の強化 ◎
- 4). 支部・ブロックにおける相談活動の充実
- 5). ピアソポーターの育成、ペアレンツメンターへの取り組み
- 6). 日本電話相談学会、民間相談員連絡協議会など相談支援専門機関・団体との連携
- 7). 日本てんかん学会、全国てんかんセンター協議会等との連携の推進
- 8). 「ぜんちのあんしん保険」等への協賛(推奨)・民間保険会社との連携(各商品情報提供)
- 9). 社会保険労務士による「年金教室」開催との連携
- 10). 相談コーディネーターの養成・研修
- 11). たすけてあかりちゃん災害対応LINEの実施 ★

地域における福祉保健・医療の向上を目的とした活動

- 1). てんかんを正しく理解する取り組み
- 2). 子育て“いきいき”支援事業
- 3). 権利擁護活動の充実(協力弁護士など社会資源ネットワークの充実)
- 4). 各種社会福祉事業の立ち上げ・運営への取り組み
- 5). 地域における療育活動の情報を集約しネットワーク化を推進
- 6). 地域てんかん医療体制の充実とヘルプマーク等活用推進
- 7). てんかんのある人々の自立生活プログラム ※東京都福祉保健財團助成事業

集団・個別療育指導活動

※福祉財団助成事業

- 1). キャンプの実施(支部を中心とした地域活動)
- 2). 水泳教室の開催(同上)
- 3). レクリエーションの実施(同上)

当事者グループ活動の充実・支援

- 1). てんかん月間・街頭啓発活動への主体的・積極的参加
- 2). 当事者組織委員会の開催と当事者のエンパワメント
- 3). メーリングリストによる情報・意見交換
- 4). 当事者交流活動の新たな取り組み(オンライン対応) ◎
- 5). 会員サービス・相談支援委員会の開催
- 6). オンライン交流会「つながるWeb交流会」の開催◎
- 7). MOSES、faMOSESプログラムの普及・啓発

MOSES、FaMOSESを活用したトレーナー養成事業の実施準備

※日本てんかん学会と共に事業

- 1). 企画委員会の開催
- 2). 事業報告書の作成
- 3). 小児・家族編の編纂
- 4). MOSES基金の運用と専用サイトの運営

見学・研修(当事者・家族・専門職・学生、など)への対応

- 1). 協会活動の紹介、参考文献・各種資料等の閲覧
- 2). てんかんに関する研修講師の派遣・紹介
- 3). 各種研修会を本部・支部において実施
- 4). ボランティア(研究者、専門職、マスコミ、一般市民など)による協力体制の拡充
- 5). 当事者の渡航、留学、来日などに対する協力

支部・ブロック活動の充実・支援・活性化

- 1). 支部還付金の交付
- 2). キャンプ助成金の交付
- 3). ブロック委員会の開催
- 4). 全国支部活動者会議およびブロック会議・ブロック大会等の開催
- 5). 「支部活動の手引」(マニュアル)の改訂(内規、細則の見直し、会計管理の準則)
- 6). アステラス・スターライトパートナー「ピアソポーター」養成研修等への参加

3. てんかんに関する調査及び研究事業

創薬ボランティア活動

- 1). 治験に関する啓発活動
- 2). 製薬企業との情報交換による最新情報の提供
- 3). 関連学会への抗てんかん薬・開発治験促進の働きかけ

- 4). 未承認薬の新規、適用拡大、単剤使用など各承認の迅速化、承認前使用、保険適用の運用整理、稀少疾病用薬品の指定、薬価基準、などへの要望活動
- 5). 添付文書の改訂要望

各種調査・研究事業の実施と協力

- 1). 会員実状調査および当事者ニーズ調査の実施 ◎ ※三菱財団助成事業
- 2). 相談専用ダイヤル実施状況分析活動、支部活動実状調査の実施 ◎
- 3). 市民意識、ステイグマ、移動と法改正の影響、各調査報告書の公表・周知
- 4). 救急医療体制とヘルプカード等に関する実状調査結果の周知
- 5). 公的サービスにおけるてんかん評価の基準に関する情報の周知
- 6). 行政、他団体などへの協力

4. 情報誌等の出版物の刊行及び取扱い事業

月刊「波」の発行

- 1). 毎月7,000部発行 ◎
- 2). 電子書籍版の配信・充実
- 3). 周知チラシの作成
- 4). 抜き刷り印刷提供サービスの試行
- 5) 編集委員会の開催(毎月)

支部機関誌紙の発行・交流

- 1). 全国47支部が毎月発行、情報誌紙としての充実
- 2). てんかん情報センターなどへ寄贈
- 3). 法人HPからの会員宛配信を実施

小冊子・ビデオの作成・広報

- 1). IE NEWS日本語版(季刊)
- 2). てんかんを知る・入門シリーズ
- 3). 新版「てんかん基礎小冊子」の配布
- 4). 「波」掲載企画(特集、連載)の分冊・小冊子化(nami selection、他)
- 5). 「抗てんかん薬ポケットブック・第7版」の作成・頒布 ★ ※協賛金事業
- 6). 既刊ビデオ・DVDのインターネット配信
- 7). 「援助の実際」シリーズのDVD版の周知

各種パンフレット等の活用・作成

※再掲 (1. てんかんに関する正しい知識の普及啓発及びその理解の促進を図るための講演会及び研修会の開催事業)

てんかん関連書籍の頒布

※再掲 (6. てんかんと専門医療に関する書籍等の普及)

5. 国内外の関連団体との連携及び交流

関係機関・団体との連携

※必要に応じて企画・自己負担金発生

1. 関係団体への加盟

- 1). 国際てんかん協会(IBE)
- 2). 全国心身障害児福祉財団(福祉財団)
- 3). 全国社会福祉協議会・障害関係団体連絡協議会(全社協・障連協)
- 4). 全国病弱・障害児の教育推進連合会(病障連)
- 5). 日本障害者協議会(JD)
- 6). 全国てんかんセンター協議会(JEPICA) *協力会員として参画

2. 関係する学会との連携

- 1). 日本てんかん学会
- 2). 日本てんかん外科学会
- 3). 日本小児神経学会
- 4). 日本精神神経学会
- 5). 日本神経学会
- 6). 日本脳神経外科学会
- 7). 日本発達障害学会
- 8). 日本精神科救急学会
- 9). その他、必要に応じて関係学会と連携

3. 関係する団体等との連携

- 1). てんかん治療研究振興財団
- 2). 日本障害フォーラム(JDF)
- 3). 日本障害者リハビリテーション協会
- 4). 全日本手をつなぐ育成会連合会
- 5). 日本発達障害連盟
- 6). 日本発達障害ネットワーク(JDDネット)
- 7). 全国精神保健福祉会連合会(みんなねっと)
- 8). 認知症の人と家族の会
- 9). 日本難病・疾病団体協議会(JPA)
- 10). Glut1異常症患者会
- 11). ドラベ症候群患者家族会
- 12). ウエスト症候群患者家族会
- 13). J-PALS・患者支援団体サミット
- 14). 社労士たまごの会
- 15). 日本製薬工業協会
- 16). 米国研究製薬工業協会・患者団体支援プログラム
- 17). 東京都神経科学総合研究所(東京都医学研究機構)
- 18). その他、必要に応じて関係団体等と連携

4. 関係するてんかん機関・病院等との連携(※全国てんかんセンター協議会会員施設を除く)

- 1). 東京女子医科大学
- 2). むさしの国分寺クリニック

- 3). 大阪南森町いけだクリニック
- 4). 新宿神経クリニック
- 5). 埼玉医科大学かわごえクリニック
- 6). 原クリニック(横浜)
- 7). 田中神経クリニック(横浜)
- 8). 川崎医院(京都)
- 9). てんかんと発達の横浜みのる神経クリニック
- 10). 日本橋神経クリニック
- 11). 新居神経外科クリニック(大阪)
- 12). 松戸クリニック
- 13). 東小金井小児神経クリニック
- 14). さざ波てんかんクリニック(静岡)
- 15). 吉川記念病院(長井)
- 16). しのみやクリニック(千代田)
- 17). 森川クリニック(名古屋)
- 18). 児玉クリニック(さいたま)
- 19). 福島神経クリニック(北海道)
- 20). すずかけクリニック(名古屋)
- 21). やまもとクリニック(大阪)
- 22). その他の医療機関

国際活動の実施

- 1). 国際てんかん協会(IBE)日本支部としての活動
- 2). IE NEWS日本語版の発行(再掲)
- 3). 「世界てんかんの日(IED)」記念イベントの国内開催 ◎ ※日本てんかん学会と共催事業
- 4) 第35回国際てんかん学会議(IEC／アイルランド)
- 5). 山内俊雄国際基金の活用
- 6). 世界保健機関(WHO)への働きかけ
- 7). 国際委員会の開催

学会・協会合同会議の開催

- 1). 年間2回、日本てんかん学会執行部との意見交換
- 2). テーマ:地域医療のあり方、組織・事業の連携、今後の協議テーマ、その他

6. てんかんと専門医療に関する書籍等の普及

てんかん関連書籍の頒布

- 1). 支部活動と連携をした書籍紹介・頒布
- 2). 関連優良図書の受託販売
- 3). 出版社や医師等と連携をした新刊本発刊の検討
- 4). 関係団体事業や関連学会会場での協会ブースの設営と出張販売

てんかんライブラリーの拡充

- 1). てんかんに関連する図書・資料の整備・充実
- 2). 国内外のてんかん最新情報の確保・提供

7. てんかんに関する諸制度の推進

関連法制度改正に伴う改革・改善への働きかけ

1. 施策推進・意見表明

- 1). 基幹施設(てんかんセンター)の整備促進と地域診療連携体制整備の拡充
- 2). 専門医・専門医療体制の整備・充実
- 3). 自動車運転に関する適切な制度運用
- 4). 生活の場面に応じた障害の支援程度区分と評価
- 5). 所得保障制度
- 6). 精神障害者保健福祉手帳のサービス拡大
- 7). 就業支援施策
- 8). 学校教育施策
- 9). 障害者総合支援法に伴う福祉サービスの充実
- 10). 障害者権利条約、障害者差別解消法、障害者虐待防止法など社会参加改善
- 11). 政策郵便制度(低料第三種郵便制度、他)
- 12). その他

2. 請願署名活動・全国要望行動の実施 ◎

- 1). 請願署名活動の強化
- 2). 協力御礼チラシの作成
- 3). てんかんのある人の医療と福祉の向上を求める会議
 - ①日時:6月5日(月)
 - ②会場:衆議院第二議員会館「会議室」
 - ③内容:当事者・家族からのアピール、国会議員との意見交換、請願書の提出
- 4). 2008年度・2015~22年度に採択された項目の具現化の推進
- 5). 地域医療計画にてんかん医療施策を明記するなどの、市区町村への要望活動に向けた課題整理と全国展開

3. 制度見直しへの意見・対応

- 1). 議員・議会への働きかけ
 - ①てんかん対策推進プロジェクトチーム、障害者・福祉・保健等関連議員連盟、等
 - ②各政党への要望活動、等
 - ③地方議員・議会
- 2). 各種委員会・研究会等の傍聴と意見提出
 - ①福祉制度
 - ②労働政策
 - ③医療・医薬品承認
- 3). てんかんのある人とその家族・行政施策に関する現状把握
 - ①手帳サービス拡大に向けた他団体との連携 ◎
 - ②会員実態調査の実施に向けたプロジェクトの検討
- 4). 福祉施策等検討委員会の開催

4. 創薬推進活動の実施

- 1). 製薬企業等との連携による最新情報の提供

- | |
|------------------------------|
| 2). 関連学会等との連携をした発治験促進の働きかけ |
| 3). 難治てんかんの治療に用いられる治療法に関する要望 |

8. その他波の会の目的を達成するために必要な事業

組織強化・拡大に向けた取り組み

1. 委員会の開催

- 1). 日本てんかん学会・日本てんかん協会合同会議(年間2回)【再掲】
- 2). 運動50周年の組織・運動改革、記録誌作成、記念事業を実施 ★◎
- 3). 「あかりちゃん夢基金」の募金活動を推進 ★◎

2. 情報誌「波」を拡げよう運動 ◎

- 1). 「波」を読もうチラシの作成・配布(周知)
- 2). 「てんかん月間」における会員獲得強化運動の実施
- 3). 病院の待合室に「波」をおいてもらおう運動の全国展開
- 4). 関係機関への協賛購読(会員)推進強化活動

3. 支部・ブロックの活性化 ◎

- 1). 都道府県・市区町村に対する全国統一要望活動の継続
- 2). 「2023年度全国支部活動者会議」の開催
 - ①6月中旬に、オンラインで開催を計画
 - ②支部活動者の要請、地域連携と啓発、組織の安定化に向けた意見交換、質疑応答
 - ③10月の全国大会に、支部活動をテーマとする情報交換の時間新設 ★◎
- 3). ブロック別活動の展開
 - ①ブロック委員会の開催
 - ②「ブロック会議」、「ブロック大会」の開催
 - ③ブロック担当理事の活動とブロック副理事との連携
 - a. 北海道、b. 東北、c. 関東、d. 中部、e. 北越、f. 近畿、g. 中国、h. 四国、i. 九州
 - ④日本てんかん学会「地方会」との連携
 - ⑤てんかん地域診療連携体制整備事業拡充と地域交通網での手帳サービス対象拡大

各種会議の開催

- 1). 第46回総会
 - ①日時:6月4日(日)
 - ②会場:都内会議室
 - ③議案:2022年度事業・会計報告書、2023年度事業計画書(案)・予算書(案)、役員選任
- 2). 理事会(年間6回)
- 3). 業務執行理事会(隨時)
- 4). 支部総会(47カ所で4月中に開催)

委員会活動 (※委員会運営規程に基づく)

- 1). 「波」編集委員会
- 2). 当事者支援委員会
- 3). 国際委員会
- 4). IT・情報活用委員会

- 5). 事業企画委員会
- 6). 施策推進委員会
- 7). 会員サービス・相談支援委員会
- 8). ブロック委員会
- 9). 運動50周年事業委員会

法人の管理

- 1). 法人登記、会長および業務執行理事の交代に伴う諸手続
- 2). 会員管理
- 3). 協会諸規程・規則・内規等の整備
- 4). 職員の人事・労務管理
- 5). 各種表彰等の推薦事務手続き
- 6). 公益社団法人事務の整備 ◎

財務・会計業務

- 1). 一般会計および特別会計の適正処理
- 2). 中長期の財務計画の策定 ◎
- 3). 公認会計士による公益法人会計処理の指導
- 4). 新公益法人会計基準の遵守
- 5). 会費納入制度の新システム導入に向けた検討
- 6). インボイス制度導入の対応
- 7). キャッシュレス対応 PAYPAY AIR PAYなどの導入

第4号議案

2023(令和5)年度予算書(案)概要 (2023年4月1日~2024年3月31日)

1. 2023(令和5)年度は、一般会計と4つの特別会計(出版部会計、災害支援会計、あかりちゃん夢基金会計、支部会計)で構成します。これら5つの会計を総括表にまとめて、法人全体の収支予算を示します。

2. 今年度の法人全体の当期収入額が約10,209万円、当期支出額が約12,162万円です。これにより、今年度の総事業費は約1,953万円の支出が超過する予算です。

ただし、前期までの繰越金を計上しますので、次期繰越金額は約2,622万円のプラス計上です。その多くの繰越金は、支部会計に計上します。

各会計別の収支では、一般会計が新型コロナウィルス感染症への指針が変わり、さまざまな事業を対面・集合形式にて実施することによる経費の見直しを行い支出が超過した予算計上です。次に出版会計は、新規取扱い書籍などが増えることによって販売促進を図り、収支ゼロが最低限の達成目標です。また、現時点では災害支援会計の予算は計上していません。自然災害などの状況に応じて、理事会にて緊急対応を計上することも想定します。

また、年度の途中で補助・助成金事業が決定した場合は、理事会において補正予算を計上します。

さらに、てんかん運動50周年を記念して、あかりちゃん夢基金に取り組みます。今年度は、募金活動を継続するとともに、各記念事業を実施します。

なお支部会計は、今年度は約1,246万円の支出超過を予定しています。これは、公益法人として内部留保額の適正化を図ることから、これまで蓄積してきた資金を新たな公益活動を行うことで使用するという、本来求められている活動を予定している結果です。

3. 今年度も安定した財源の獲得をめざし、事業・活動の新しい取り組みを模索します。会費のあり方や収入に見合った組織規模と活動の展開などを運動50年の総括の中で見直します。まずは、さまざまな活動の対面実施を再開し、会費額や事業収入を増やすよう各地での活動の活性化に取り組みます。

法人本部では、協賛金減少などの影響もあり、財政が大きな危機を迎えています。会費に依存する活動が難しくなっているので、てんかん基礎講座の受講者拡大、「波」誌面や専用ホームページなどの協賛広告の募集などにも、積極的に取り組みます。また、新規取扱い書籍などが増えたことを受けてさらなる販売促進を図り、出版部の売上げ増も目指します。

支出については、引き続き事業費や固定費用の節減に取り組みます(理事会開催費、事務所経費、など)。加えて、てんかん月間(10月)や世界てんかんの日記念イベント(2月)に取り組み、広く社会にアピールすることで、公益法人として意義のある寄付金募金活動を、協賛企業などの理解も得ながら、さらに進めて行きます。

2023(令和5)年度一般会計予算(案)

当期収入	74,403 千円
当期支出	74,403 千円
当期差引残高	0 千円

[収入の部]

科目 大科目	科目 中科目	予算額 (千円)	前年度予算額 (千円)	増減 (千円)	備考
基本財産運用	基本財産利息	1	1	0	有価証券受取利息
	小計	1	1	0	
特定資産運用	特定資産利息	1	1	0	有価証券受取利息
	小計	1	1	0	
入会金	正会員入会金	80	80	0	新入会者
	賛助会員入会金	10	10	0	新入会者
	家族会員入会金	10	10	0	新入会者
	購読会員入会金	10	10	0	新入会者
	小計	110	110	0	
会費	正会員会費	18,000	18,000	0	個人会費
	賛助会員会費	5,000	6,000	-1,000	個人・団体会費
	購読会員会費	920	920	0	個人・団体会費
	小計	23,920	24,920	-1,000	
事業収入	社会啓発	10,100	10,100	0	基礎講座参加費
	療育指導	6	6	0	面接相談料(一般)
	調査研究	0	0	0	
	その他	175	175	0	全国大会
	小計	10,281	10,281	0	
補助金等	国庫	0	0	0	
	地方公共団体	0	0	0	
	民間	400	400	0	保護者研修など(全国財団経由)
	小計	400	400	0	
負担金収入	社会啓発	0	0	0	
	療育指導	0	0	0	
	調査研究	250	250	0	IED
	その他	1,190	1,390	-200	全国大会、他
	小計	1,440	1,640	-200	
寄付金	寄付金	3,000	3,000	0	個人寄付金、他
	協賛金	15,825	18,905	-3,080	協賛廣告、事業協力金(波、基礎講座、月間、50周年、全国大会、IED、ポケットブック他)
	小計	18,825	21,905	-3,080	
雑収入	受取利息	1	1	0	金融機関預け入れ利息
	雑収入	50	50	0	印税、他
	小計	51	51	0	
基本財産					
固定資産売却益	什器備品売却	0	0	0	
	投資有価証券売却	0	0	0	
	小計	0	0	0	
敷金・保証金戻	敷金戻り	0	0	0	
	保証金戻り	0	0	0	
	小計	0	0	0	
借入金	短期借入金	0	0	0	
	長期借入金	0	0	0	
	小計	0	0	0	
金銭信託・定期預金収入					
他会計繰入金					
		19,374	74	19,300	出版・夢基金会计より
当期収入合計		74,403	59,383	15,020	
前期繰越収支差額		19,212	17,896	1,316	
収入合計		93,615	77,279	16,336	

[支出の部]

科目		予算額 (千円)	前年度予算額 (千円)	増減 (千円)	備考
大科目	中科目				
社会啓発事業費	給与手当	1,360	1,355	5	2名分
	臨時雇賃金	920	910	10	1名分(「波」)
	退職金掛金	105	105	0	1名分
	法定福利費	230	230	0	同上
	福利厚生費	10	10	0	同上
	旅費交通費	459	469	-10	「波」編集委員会、基礎講座、月間
	通信運搬費	2,833	2,803	30	「波」発送、基礎講座、月間
	消耗品費	50	50	0	インターネット
	印刷製本費	10,535	10,175	360	「波」、基礎講座、IEニュース、月間、ポケットブック
	賃借料	1,300	1,300	0	「波」サーバー、基礎講座
	諸謝金	650	670	-20	基礎講座講師謝金
	負担金支出	116	116	0	基礎講座、IEnews
	助成金支出	0	0	0	
	寄付金支出	0	0	0	
	委託費	2,051	2,051	0	基礎講座
	雑費	67	62	5	「波」編集委員会、基礎講座、てんかん月間
	予備費	300	50	250	「波」、基礎講座、てんかん月間
小計		20,986	20,356	630	
療育指導事業費	給与手当	1,575	1,570	5	1名分
	臨時雇賃金	861	850	11	相談員(4名)
	退職金掛金	88	88	0	1名分
	法定福利費	160	160	0	1名分
	福利厚生費	80	80	0	1名分
	旅費交通費	130	128	2	相談員(4名)、医療相談員、当事者活動
	通信運搬費	0	0	0	
	消耗品費	0	0	0	
	印刷製本費	0	0	0	
	賃借料	10	10	0	当事者活動
	諸謝金	0	0	0	
	負担金支出	0	0	0	
	助成金支出	50	60	-10	キャンプ助成金
	寄付金支出	0	0	0	
	委託費	7,800	8,000	-200	支部還付金
	雑費	44	44	0	送金手数料
	予備費	0	0	0	
小計		10,798	10,990	-192	
調査研究事業費	給与手当	1,205	1,200	5	1名分
	臨時雇賃金	920	910	10	1名分
	退職金掛金	0	0	0	
	法定福利費	0	0	0	
	福利厚生費	0	0	0	
	会議費	0	0	0	
	旅費交通費	0	0	0	国際交流
	通信運搬費	10	10	0	
	消耗品費	0	0	0	
	印刷製本費	160	160	0	会員調査
	賃借料	160	160	0	IEDイベント
	諸謝金	5	200	-195	IEDイベント
	負担金支出	25	21	4	IBE会費
	助成金支出	0	0	0	
	寄付金支出	70	58	12	IBE活動
	委託費	0	0	0	
	雑費	12	12	0	資料代、手数料、他
	予備費	325	595	-270	IEDイベント、他
小計		2,892	3,326	-434	

科目		予算額 (千円)	予算額 (千円)	増減 (千円)	備考
大科目	中科目				
その他事業費	給与手当	2,775	2,770	5	2名分
	臨時雇賃金	920	910	10	1名分
	退職金掛金	88	88	0	1名分
	法定福利費	160	160	0	1名分
	福利厚生費	80	80	0	1名分
	旅費交通費	2,310	2,000	310	全国大会、委員会活動、他
	通信運搬費	585	374	211	全国大会、署名活動
	消耗品費	665	165	500	紙代、他
	印刷製本費	2,270	1,110	1,160	全国大会、署名用紙
	賃借料	4,960	160	4,800	ブロック会議、50周年記念事業
	諸謝金	500	200	300	全国大会
	負担金支出	201	201	0	加盟団体会費
	助成金支出	0	0	0	
	寄付金支出	0	0	0	
	委託費	1,300	0	1,300	全国大会、50周年記念事業
	雑費	595	595	0	50周年記念事業、請願集会、資料購入
	予備費	1,500	230	1,270	50周年記念事業、他
小計		18,909	9,043	9,866	
管理費	役員報酬	1,080	1,080	0	1名分
	給与手当	2,400	2,400	0	1名分
	臨時雇賃金	0	0	0	
	退職金掛金	0	0	0	
	法定福利費	1,250	1,250	0	1名分
	福利厚生費	56	56	0	同上
	会議費	1,420	194	1,226	理事会、総会費用
	旅費交通費	850	845	5	2名分
	通信運搬費	975	975	0	電話代、切手、宅配料金
	消耗品費	772	772	0	事務用品、ホームページ
	修繕費	0	0	0	事務機
	印刷製本費	375	375	0	活動資料
	水道光熱費	144	144	0	事務局
	賃借料	5,182	5,182	0	事務所、リース代
	災害保険料	8	8	0	事務所
	諸謝金	550	550	0	公認会計士
	租税公課	200	200	0	消費税
	負担金支出	450	450	0	PC保守料
	寄付金支出	30	30	0	不祝儀、他
	雑費	5	5	0	手数料、他
	予備費	3	3	0	
小計		15,750	14,519	1,231	
雑損失		0	0	0	
固定資産取得	什器備品購入	0	0	0	
	電話加入権購入	0	0	0	
	小計	0	0	0	
借入金返済	短期借入金返済	0	0	0	
	長期借入金返済	0	0	0	
	小計	0	0	0	
他会計繰入		0	0	0	
特定預金		5,068	0	5,068	夢基金事業資産
当期支出合計		74,403	58,234	16,169	
当期収支差額		0	1,149	-1,149	
次期繰越収支差額		19,212	19,045	167	

2023(令和5)年度出版部会計予算(案)

当期収入	3,064 千円
当期支出	3,064 千円
当期差引残高	0 千円

[収入の部]

科目	予算額 (千円)	前年度予算額 (千円)	増減 (千円)	備考
売上(一般)	2,064	2,664	-600	個人・書店など直接販売
売上(地方)	1,000	1,400	-400	支部を通じた売上
雑 収 入	0	0	0	
他会計繰入	0	0	0	一般会計より
当期収入合計	3,064	4,064	-1,000	
前期繰越	-20,756	-20,166	-590	
収入合計	-17,692	-16,102	-1,590	

[支出の部]

科目	予算額 (千円)	予算額 (千円)	増減 (千円)	備考
仕 入	1,000	2,000	-1,000	他社からの受託販売
印刷製本費	400	400	0	ポケットブック
給 与 手 当	0	0	0	
臨時雇賃金	0	0	0	
退職金掛金	0	0	0	
法定福利費	0	0	0	
福利厚生費	0	0	0	
旅費交通費	0	0	0	
広告宣伝費	30	30	0	関係雑誌等に掲載
通信運搬費	10	10	0	発送料
消 耗 品 費	10	10	0	事務用品
賃 借 料	1,400	1,400	0	倉庫、電子書籍システム代
租 稅 公 課	120	120	0	消費税
雑 費	10	10	0	送金手数料、他
回収不能額	10	10	0	売掛金
繰入金支出	74	74	0	一般会計へ
当期支出合計	3,064	4,064	-1,000	
当期収支差額	0	0	0	
次期繰越收支差額	-20,756	-20,166	-590	

2023(令和5)年度災害支援会計予算書(案)

当期収入	0 千円
当期支出	80 千円
当期差引残高	-80 千円

[収入の部]

科目	予算額 (千円)	前年度予算額 (千円)	増減 (千円)	備考
寄付金	0	0	0	
雑収入	0	0	0	
当期収入合計	0	0	0	
前期繰越	5,652	5,684	-32	
収入合計	5,652	5,684	-32	

[支出の部]

科目	予算額 (千円)	前年度予算額 (千円)	増減 (千円)	備考
印刷製本費	0	0	0	
臨時雇賃金	0	0	0	
旅費交通費	0	0	0	
広告宣伝費	0	0	0	
通信運搬費	80	0	80	
消耗品費	0	0	0	
賃借料	0	0	0	
雑費	0	0	0	
寄付金支出	0	0	0	
繰入金支出	0	0	0	
当期支出合計	80	0	80	
当期收支差額	-80	0	-80	
次期繰越収支差額	5,572	5,684	-112	

2023(令和5)年度あかりちゃん夢基金予算書(案)

当期収入	23,000 千円
当期支出	30,000 千円
当期差引残高	-7,000 千円

[収入の部]

科目	予算額 (千円)	前年度予算額 (千円)	増減 (千円)	備考
寄付金	23,000	20,000	3,000	個人、法人(企業・団体)寄附金
雑収入	0	0	0	
当期収入合計	23,000	20,000	3,000	
前期繰越	4,303	0	4,303	
収入合計	27,303	20,000	7,303	

[支出の部]

科目	予算額 (千円)	前年度予算額 (千円)	増減 (千円)	備考
印刷製本費	150	50	100	記念チラシ、他
臨時雇賃金	0	0	0	
旅費交通費	100	0	100	募集依頼、他
広告宣伝費	0	0	0	
通信運搬費	100	30	70	募集案内、チラシ配布、他
消耗品費	300	300	0	記念サイト、記念グッズ、他
賃借料	0	0	0	
雑費	50	30	20	手数料、他
繰入金支出	19,300	0	0	一般会計へ(夢基金事業で使用)
特定預金預入支出	10,000	10,000	0	運動推進資産へ
当期支出合計	30,000	10,410	19,590	
当期収支差額	-7,000	9,590	-16,590	
次期繰越収支差額	-2,697	9,590	-12,287	

●公益社団法人日本てんかん協会●

2023(令和5)年度支部会計予算(案)

当期収入	29,847 千円
当期支出	42,302 千円
当期差引残高	-12,455 千円

[収入の部]

科目		予算額 (千円)	前年度予算額 (千円)	増減 (千円)	備考
大科目	中科目				
本部還付金	-	7,800	8,000	-200	年2回
	小計	7,800	8,000	-200	
本部助成金	-	50	60	-10	キャンプ
	小計	50	60	-10	
入会金	-	100	94	6	新入会者
	小計	100	94	6	
事業収入	書籍販売	316	466	-150	書籍売上
	小計	316	466	-150	
補助金等	地方公共団体	12,471	12,616	-145	地方公共団体等
	小計	12,471	12,616	-145	
負担金収入	社会啓発	5,880	2,797	3,083	講座、等
	その他	0	0	0	大会、等
	小計	5,880	2,797	3,083	
寄付金	寄付金	2,639	2,266	373	個人寄付金、他
	小計	2,639	2,266	373	
雑収入	雑収入	591	607	-16	金融機関預け入れ利息、雑収入
	小計	591	607	-16	
他会計繰入金		0	0	0	
当期収入合計		29,847	26,906	2,941	
前期繰越収支差額		37,340	43,306	-5,966	
収入合計		67,187	70,212	-3,025	

[支出の部]

科目	予算額 (千円)	前年度予算額 (千円)	増減 (千円)	備考
仕 入	1,000	1,400	-400	本部よりの受託販売
印刷製本費	5,191	5,144	47	資料印刷、等
賃 金	3,657	3,679	-22	スタッフ賃金
会 議 費	1,778	1,789	-11	支部総会、世話人会、等
旅費交通費	9,336	6,671	2,665	移動経費
通信運搬費	5,997	5,683	314	発送料
諸 謝 金	0	0	0	講師謝金
消 耗 品 費	2,332	2,254	78	事務用品
賃 借 料	6,290	6,406	-116	事務所賃料
租 税 公 課	0	0	0	税金等
保 険 料	0	0	0	ボランティア保険等
負担金支出	2,406	3,297	-891	講座、活動者会議
雑 費	4,315	4,110	205	手数料、他
繰入金支出	0	0	0	
当期支出合計	42,302	40,433	1,869	
当期收支差額	-12,455	-13,527	1,072	
次期繰越収支差額	24,885	29,779	-4,894	

【 2023(令和5)年度会計予算書(案)】 收支計算書総括表

●公益社団法人日本てんかん協会●

2023(令和5)年4月1日より2024(令和6)年3月31日まで

(単位:千円)

科目	一般会計	出版部会計	災害支援会計	あかりちゃん 夢基金会計	支部会計	相殺	合計
【収入の部】							
基本財産運用収入	1	0	0	0	0	0	1
特定資産運用収入	1	0	0	0	0	0	1
本部還付金	0	0	0	0	7,800	△ 7,800	0
本部助成金	0	0	0	50	50	△ 50	0
入会金	110	0	0	100	0	0	210
会費	23,920	0	0	0	0	0	23,920
事業収入	10,281	3,064	0	316	△ 1,000	12,661	
補助金等収入	400	0	0	12,471	0	12,871	
負担金収入	1,440	0	0	5,880	0	7,320	
寄付金収入	18,825	0	0	2,639	0	44,464	
雑収入	51	0	0	591	0	642	
特定資産収入	0	0	0	0	0	0	0
（情報誌刊行事業資産）							
金銭信託収入	0	0	0	0	0	0	0
（基本運用財産）	19,374	0	0	0	0	0	0
繰入金収入	74,403	3,064	0	23,000	29,847	△ 19,374	0
当期収入合計	19,212	△ 20,756	5,652	4,303	37,340	△ 28,224	102,090
前期繰越収支差額	93,615	△ 17,692	5,652	27,303	67,187	△ 28,224	45,751
収入合計							147,841
【支出の部】							
社会啓発事業	20,986	0	0	11,521	0	32,507	
療育指導事業	10,798	0	0	15,767	△ 7,850	18,715	
調査研究事業費	2,892	0	0	529	0	3,421	
その他事業費	18,909	0	80	700	5,342	0	25,031
管理費	15,750	0	0	0	7,296	0	23,046
仕入費	0	1,000	0	0	1,000	△ 1,000	1,000
諸費	0	1,980	0	847	0	2,827	
回収不能額	0	10	0	0	0	0	10
雑損失	0	0	0	0	0	0	0
繰入金支出	0	74	0	19,300	0	△ 19,374	0
特定資産支出	5,068	0	0	0	0	0	5,068
（夢基金事業資産）	0	0	0	10,000	0	0	10,000
特定資産預入支出	74,403	3,064	80	30,000	42,302	△ 28,224	121,625
当期支出合計	0	0	△ 80	△ 7,000	△ 12,455	0	△ 19,535
当期収支差額	19,212	△ 20,756	5,572	△ 2,697	24,885	0	26,216
次期繰越収支差額							

役 員 選 任 (案)

2023(令和5)年6月4日選任候補者

(*任期は2025年の第48回総会まで)

	職名	氏名	立場	住居地
【代表理事】	会長	梅本 里美	親	北海道
【執行理事】	副会長	久保田英幹	医師	東京都
"		中村 千穂	親	東京都
"	常務理事	岡本 朗	専門職	福岡県
理 事	小園井智代	親	東京都	
	川上 純一	本人	東京都	
	島本 真規	本人	島根県	
	田所 裕二	その他	東京都	
	土橋登世子	親	和歌山県	
	中川 栄二	家族・医師	東京都	
	浪久 悠	専門職	埼玉県	
	藤川 真由	専門職	東京都	(※新任)
監 事	大澤 栄一	専門職	東京都	(※新任)
	山内 俊雄	医師	埼玉県	

※候補者の並び順は、職名毎に五十音順です。

※新任および再任などの表記が無い皆さんは、重任（前期からの継続）です。